京城日報

十四日夕刊

本紙定價　一部金三錢五厘　一ケ月金六十五錢　三ケ月金壹圓九拾錢　六ケ月金三圓七拾錢（郵税前金）▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲欄内一行金壹圓貳拾錢　▲三號活字は五號活字の一倍半　▲二號活字は同三倍　▲一行は二號活字の一行は五號活字の二行…の事
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　谷口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯　三四五番　營業　三二六番　振替口座京城三〇〇番　三六〇〇番

○湖南の形勢急變の徴

湖南の形勢急變の徴あり南下の熊希齡は先づ同地の治安維持に努力す可しと（北京特電）

○四川形勢日々に危し

四川の狀態日々危殆に赴くより北京政府の狼狽一方ならず成都官憲亦恐慌を來し陳將軍再度辭職を申請せりとの說あり（北京特電）

○武裝商船攻撃と聯合國

傳へらるゝ所に據れば聯合諸國は若し米國にして武裝商船に對する墺獨の潜航艇攻撃を承諾するに於ては直に米國に對し抗議を提出す可く計畫しつゝあり（紐育電報）

○武裝解除不同意通告

華盛頓來電に據れば、協商國側の代表者は國務卿ランシング氏に對し協商國は商船の武裝を解除す可しとの米國の提議に同意すること能はざる旨通告せりと（紐育電報）

○北軍白砂に敗る

北軍は去る八日革命軍の爲めに突破され白砂城より敗退したり（上海電報）

○晩港東人排斥

晩香坡港にては近來東洋人の排斥運動を開始したり（晩香坡電報）

○十四日の衆議院

十四日衆議院に於ては妥協追加豫算案に就き豫算委員會を開く（東京電報）

○政府と保險案

全國保險業者の簡易保險案に對する反對運動は激烈なる可きも政府は初志の貫徹を期し居れりと（東京電報）

○日英同盟改訂說

極東に於ける日本の勢力發展に伴ひ日英同盟改訂の交渉は事實とならんと傳へらる（東京電報）

○林大使次期外相說

駐伊大使林權助氏の歸朝は次期内閣の外相と爲るべしとの說あり（東京電報）

○伊集院大使赴任期

新任伊國駐劄大使伊集院彦吉氏は來る三月中旬赴任する由（東京電報）

◎慰問使の各隊傳達

慰問使若見侍從武官は豫定の如く十三日午前九時憲兵隊司令部を訪ひ樓上應接室に立花總長其他の出迎を受け聖旨及び令旨の傳達をなし立花總長より管下の狀況を報告し終つて其れより慰問使は京城憲兵隊朝鮮步兵隊等を訪ひ同く聖旨令旨の傳達をなしたり

◎若見侍從武官出發

入京中なりし若見侍從武官は十四日午前八時卅分南大門發急行列車にて大邱へ向へり

◎學務會同日程

十四日より總督府第二會議室に開催せる各道學務主任會同の日程如左

▲十四日、午前聽取事項午後同上▲十五日、午前注意事項午後同上△十六日、午前打合事項午後同上▲十七日、各學校觀察▲十八日、同上▲十九日、同上

◎學務主任會同（一日）

各道學務主任會同第一日は十四日午前十時より總督府第二會議室に開催各道學務主任十三名は勿論、總督府よりは寺内總督以下宇佐美長官、關屋學務局長、關係各課長の外視學官視學、廣田釜山中學校長、京龍各學校長等出席し宇佐美長官統裁の下に豫定の日程を議了し午後三時散會したり

◎日滿聯絡貨物狀況

一月中に於ける朝鮮經由及び發著日滿聯絡貨物の總輸送數量は六百八十噸三分にして之を前月に比すれば三百七十九噸七分を減少したりと雖も前年同月の百五十噸二分に比較する時は著しき增加と謂はざる可からず是れ一月は前月の歲末商繁期を承けて小閑の狀態に在るを例とするを以て前月に比し減量したるは寧ろ當然なるも尚前年同月に比し約四倍半に增加したるが如き本聯絡が日に月に當業者間に利用せらるゝの度を增加するを證するものと云ふを得可し內地發貨物の主なるものは蘭貢米二百五十四噸一分綿布八十一噸紙廿五噸八分莫大小製品二十噸七分絹糸十二噸三分等にして合計四百二十六噸朝鮮發は概ね朝鮮米にして二百六十九噸なり而して哈爾賓發朝鮮著にて麥粉二十噸四分の輸入を見たるが本貨物は與に滿洲無稅輸出の取扱を受くる事となりたるものにして這回京城某商人が取引を試みたるものなり

◎大邱免囚保護事業

諏訪大邱典獄を會長とせる出獄人保護會は其後著々完備し大正四年度は收入三千八百九十六圓に對し支出一千三百二十九圓二十九錢差引一千九百五十六圓七十六錢の繰越金あり事業の概況は出獄後本會に引取り保護監督をなしたるものの總數三十二人此延人員二千三百十八人なほ細別すれば內地人男五人鮮人男二十三人同女四人にして本人の希望又は他の事情により保護を解きたるもの二十五人而して保護を加へたる期間は一箇月以內一四人二箇月以內三人三箇月以內三人四箇月以內三人五ケ月以內一人六ケ月以內二人七ケ月以內一人十一ケ月以內二人十二ケ月以內一人一年以上一人二年以上二人成績良好なる方なるが五年度よりは更に財團法人となし四千三百四圓七十六錢の豫算を以て一層慈善的教育をなすべし

◎平南米種改良

本年は約三千町步　改良米種は試驗の結果昨年の出種に決定し居れるが昨年は道當局に於て米種を交附し極力普及を獎勵せし結果道內の改良種植付面積千三百七十餘町に達し之れを前年の四百餘町に比すれば九百八町の增加を示し居れり而して改良種は收穫に於て一割乃至四割を增し殊に米質優良にして玄米一石に付三四十錢の格差あるより地方農民も漸く疑ひを釋ゐて改良米種の有利を知得せし模樣なりと云へば本年は約三千町步に擴張する計畫の由（平壤）

◎釜山電鐵成績

釜山郵便局前より釜山鎭停車場に至る並に釜山鎭停車場より東萊溫泉場に至る輕便鐵道電鐵一月中の成績及び前月との比較增減左の如し（△印は減）

	一月中	前月增減
▲釜山釜山鎭間電鐵		
乘車人員	五七、六九五人	一、七九九人
乘客賃金	三、一五二、九三八	九六、三七四
▲釜山鎭東萊間輕鐵		
乘車人員	一九、二三一人	六〇一人
乘客賃金	一、〇五二、三一二	△三〇、七九二
▲電鐵輕鐵合計		
乘車人員	七六、九二六人	二、四〇〇人
乘客賃金	四、二〇五、二五	△一七二、一六五

◎鮮人に造船教授　京畿道

高陽郡新北面本洞里（漢江鐵橋附近）約六十戶の鮮人は多年造船業を營みて生計を立て來りたるが近來內地式の新型船續々歡迎を受け內地人のみならず鮮人向にも相當需要を喚ぶに至りたるため自然北面本洞里の造船業者に注文する者減少し最近に於ては殆んど失職の狀態となり居たるが京畿道にては大に之れを憂ひ地方費の支辨を以て客月二十七日より內地式造船の講習會を開き內地人敎師を聘して實地に敎授中なり講習期間は約二箇月間の豫定にて目下五名の講習員を選拔し造船中にて何れも大に喜び居れりと

◎桑苗蠶種の共同購入

京畿道內に於ける本年度桑苗蠶種購入の豫定を聞くに當業者の共同して購入する接木桑苗は約八十萬本にして蠶種は一萬五千枚なりと云ふ此外道より配布するもの又は自家製造又は自己購入の分等を合すれば相當の額に達す可く前年に比し二三割方の增加を見るに至る見込なりと

◎農事獎勵支會

京畿道坡州郡に於ける農事獎勵會支會及び農友會總會は十三日午前十時より同郡廳に於て開會京畿道よりは柳參與官林技手等出席し本年度の事業決定及び實行事項等の打合を爲し來會者二百五十名ありたりと

◎辭令

十二日附を以て左の如き辭令ありたり

依願免本官　朝鮮總督府檢事　金大徑
依願免本官　朝鮮總督府技師　菊地廣
五級俸ト賜依願免本官

◎三浦氏招待會

官民有志の發起に係る三浦氏招待會は既記の如く十三日夜花月に開催せり來會者數十名に達し主客胸襟を披きて歡談數刻散會せるは十時なりき

◎三浦參事官出發

滯京中なりし華盛頓駐在日本大使館參事官三浦彌五郎氏は十四日朝南大門驛發汽車にて退京馬山に向へり、氏は三四日同地に滯在の上東京に赴き五月下旬歸任す可しと

仁川

▲商議評議員會　仁川商業會議所にては十五日午後六時より同所樓上に於て第一次會の總會として評議員會を開會し五年度豫算案及び賦課徵收方法の協議を爲す筈なり

▲仁川海州間定期航路　仁川德洞間の定期汽船（寄港地海州、龍塘浦、登津、龍湖島、九味浦、白翎島）金州丸は修繕の爲め二月六日より同二十日迄二週間休航するも仁川海州間定期船たる錦江丸南陽丸の兩船は異狀なく往復なしつゝあり

平壤

▲平南地方費豫算　平安南道の大正五年度地方費豫算は道廳地方係の手に於て取纏め中なるが各係の豫算調査中未だ完了せざる向あり其の出揃ひは二月末なるべく勸業係は最も新計畫に富み居る模樣なり

▲他道移住續出　昨夏平南道中和郡に於ける水害の結果罹災民中穀價騰貴耕地荒廢等の理由により漸次生活困難を加へ來り其筋にて耕地の復舊に努力し將來の定住を極力勸誘するに拘はらず最近迄に左の如き他道移住者を出せりと

平北	四三	咸南	七七	咸北	一
黃海	一八	江原	四	京畿	一
合計	一四四				

木浦

▲三銀行成績　當地に於ける鮮銀出張所十八銀行支店及び光農支店の一月營業成績を見るに預金預り高百卅八萬八千四百八十六圓拂戾高百三十一萬二千六百五十七圓貸金高百五十一萬五千六百七十三圓回收高百七十三萬四千五百十三圓にして月末現在高は預金百零二萬八千九百五十八圓貸附百二十四萬三千五百三十七圓なり更に手形取扱高を聞くに仕向百零七萬七百六十三圓被仕向高三十二萬三千零四十九圓にして昨年同期に比し何れも增加せり

▲監獄出張所設置　本道內濟州及び長興に光州監獄出張所を設置すべき事は夙に當局者間の懸案となり居たりしが最近則ち近典獄が濟州に出張せるは同問題に關するものにして遠からず兩地共出張所の設置を見るに至らんと

▲記念木杯下賜　御大典地方賜饌者及び府尹主催の奉祝會列席者へ御大典記念の木杯一個宛下賜さるる由は既報したるが右木杯は昨日總督府より著直ちに各光榮者へ配付したり

▲府協議會開催　本府協議會は府尹病氣其他の支障にて木浦府協議會は未だ本年度の初會合も催さざりしが府尹は既に歸任したるに付來る十七日頃開催し既報の如く豫算追加更正の件其他を附議し尚來年度豫算の下協議をも爲すべしと

▲會計檢査　總督府屬西猛美氏は去る九日來木務安郡廳及び木浦法院支廳並に府廳の會計檢査を爲し濟州島へ向け出發せり

釜山

▲慶南鮮語講習會　慶尙南道廳にては二月一日より道廳及び道內各府郡に在勤する內地人職員に對し義務的に鮮語を練習せしむべく慶尙南道朝鮮語講習會を組織せり今其內容を聞くに道廳に本會を支會を各府郡に置き會期は一箇年每週月曜日、木曜日の二日午後四時より六時まで二時間と定め講習終了の際終末試驗を行ひ合格したるものには終了證書を附與し不合格者に對しては明年度に於て再講習を命ずる由なれば從來のものと全く趣を異にして居る所から會員一同孜々として勉勵しつゝあり

▲石油五百箱入荷　品物拂底輸入絕望なりし寶田石油其後釜山元賣捌店主數名內地に直接交渉談合の結果入荷する事に決定し既に金勝印五百箱一兩日に著荷する筈なり而して取引相場四圓九十五錢なりと

▲玄米大連積出　釜山岡野商店にては此程大連より玄米一萬俵の注文を受け兩三日中に同地に積出す筈なるが多分軍用米ならんと噂されつゝ有る

▲小學生の兎狩　釜山尋常高等小學校にては十三日赤崎半島附近に兎狩を擧行せり同校職員生徒百四十餘名は早朝徒步發足一日の淸遊を果し午後五時十五分釜山著列車にて歸校散會せり

▲日本基督青年會　釜山日本基督青年會にては十二日午後七時より寶水町教會內に於て評議會を開き中間食の際に次ぎ石井鮮銀支店長の「心身の調和」と題する講話あり九時散會す

◎大阪財界便り

▲大阪支鮮貿易　大阪港對朝鮮及び支那移出入貿易は二月上旬中移出品價六十二萬四千二十一圓移入品價七十九萬九千八百九十九圓差引十七萬五千八百七十八圓を示せるが之にて一月以降の移入超過累計廿二萬三千百七十六圓に達せる計算なり

▲大阪外國貿易　二月上旬の大阪港對外國貿易は輸出品價三百九十四萬五千五百九十一圓輸入品價二百四十三萬五千六十四圓にて差引出超百五十一萬五百二十七圓を示せるが之にて一月以降の出超累計四百六十八萬五千五百六十圓に達せる勘定なり

▲一大船舶銀行　神戶の船主同盟會の人により計畫中の船舶銀行設立の議は著々進捗し茲一兩月中には確定すべく資本金一千萬圓の見込にして船舶を抵當とし貸出を行ふものなりと斯る銀行は海外にても未だ其例を見ざるを以て政府も愼重に調査中なりと

▲大阪倉庫滿腹　春暖と共に米棉砂糖の出廻期に入り各倉庫充滿の狀態となるは每年の例なるが昨今朝鮮移入米一時に激增し倉庫業者は其れが處分に困しみ居れるに加へて鐵材藥品染料等將來益々騰貴の餘地あるものに對し何れも思惑買又は賣惜みをなし假に商狀活潑なりとするも所謂倉荷證券の空買に過ぎされど依然として在庫品減退の狀なく却つて增加の氣配を示せるより各倉庫業者は米棉砂糖等の入倉期を眼前に控へ如何にして之を處分せんかと苦心しつゝあり

▲藤田製煉開業　藤田組にては硫素鐵滿俺鐵電氣精煉の目的を以て大阪築港に研究所を設置すると共に名古屋熱田に土地を買收し工場建造中の處略完成したるを以て三月一日より精煉事業を開始すと而して大阪築港の研究所は本月限り撤廢すと

▲紙類稍々小締　洋紙類は昨年十月より漸次値上をなし和紙は舊臘末より昂騰の氣配を示し一月パルプ輸入絕望の報に接し和洋紙共空前の熱狂相場を現出したるが其の當時は市中の需要家が買入れたる一個二個の端物にさへ相當の利徑を附し買込地方へ店員を出して在庫品の倉渫へを爲さしめいやが上に市價を煽りたるが之等の品は目下各倉庫に蝟集され何ほ其の數量漸次增加するの傾向を呈しつゝあるが買付側も資金其他の關係上此れ以上の買付困難にして買込側は最早これ以上の利益あらざるべきやに觀せられ賣援けんとするものポツ〳〵現はれたれば一兩日中には反動安を演ずべしと唱ふるものさへありて一般に稍々悲觀せられつゝあれば最早大なる材料の入らざる限り之以上の昂騰はなく要するに昨今落付き居る模樣なり

▲印度綿絲增稅　十二日來電今回印度總督府にては財政上の理由の下に從來綿製品三分五厘綿製品五分の輸入稅を各倍加して綿製品一割となす增稅案を二月十五日の參事院に提出すべしと而して右施行期は四月一日よりと規定せり（大阪支局）

◎新疆甘肅の形勢

新疆將軍楊增新甘肅將軍張廣建より重要なる密電頻りに北京に達し同方面の形勢の危急を告げつゝあることは前電の如くなるが其內容は外蒙古科布多を經て潛入せる數の革命黨員は蒙古人及び新疆甘肅の回教徒を煽動して叛亂を勸め土匪諸方に蜂起して軍情動搖し居れば若し適當の時機に應援軍を派遣する能はざるに於ては回教軍の叛亂を免るゝ能はざるべしと云ふに在り然れ共北京政府は目下此要求に應ずべき軍隊を有せざれば兩省の形勢は非常の危險に迫り居れり（北京）

人事消息

▲秋山鐵太郎氏（視學官）　平安北道及び關島地方へ出張中の處十三日歸任
▲小井三男氏（專賣課長）　十三日慶尙南道へ出張
▲鈴木直三郎氏（釜山中學校長）　十四日朝入京[illegible]館へ
▲佐渡秀光氏（永登浦皮革會社專務）　十三日內地より歸任
▲大立目小一郞氏（第二十五聯隊長步兵大佐）　十三日午後弘濟丸にて內地へ
▲緒方多賀雄氏（朝鮮臨時派遣步兵第一聯隊長步兵大佐）　同上
▲持地土木局長　十三日午後九時南大門著歸任
▲中國副領事　同上成歡より歸京
▲服部京畿道幹務部長　十四日朝仁川へ
▲村井大尉（京城憲兵分隊長）　同上加平へ
▲黑田修一氏（關東都督府參謀）　滯京中十三日夜歸任
▲中村竹藏氏（京城覆審法院檢事長）　同夜大邱へ出張

香南雪北

戰爭のお蔭で此頃內地では成金が續々出來るらしい▲殊に近來金物騰貴で金クソ成金迄も出來るなんて此奴は餘り名が好くない▲朝鮮でも鑛山成金が出來かけた山ナリとでも云はうか▲タングステンだからタンナリが可からう▲イヤ重ナリと書いてジゲナリと讀ませば上品だなんて閑人が話して居ると慶尙地方ではボーキサイドが發見されたと云て來た▲此のボーキサイドは即ち輕銀鑛でアルミニユームの原料だ▲日本では今迄殆んど産出しなかつたのみならず朝鮮でも始めてだ▲此奴も目下七倍方の騰貴をして居るが需要も廣く高價である許りではない戰後も永遠に世界の需用がある▲愈々大變なものが飛び出したものだ之れだから山ナリが一生懸命になるのも最も千萬▲慶南陝川に一千馬力の水源を有する慶尙水力電氣會社の創立計畫は著々進捗して居たが▲イザとなつて見ると鐵材の暴騰と內地各製鐵場との關係から折角だが著手が出來なくて或る期間迄設立延期とは惜しいものだ▲が、其う急がなくても朝鮮はまだ〳〵之れからだ大にやるべし▲今年は余り溫くて京城以南では夏になつたら氷を何うしようと頭を捻つて居る人も多いらしい▲其處で何うしても今年は鴨綠江の氷で間に合はせねばならぬと云ふ處から鐵道では本月中氷の運搬賃を五割引にする相な▲而も幾何鴨綠江だつて今年の溫氣には充分の水が張らなかつた▲けれど先づ一尺乃至一尺五寸位はある相な處が一雨でも降らうものなら採取が六ケ敷くなるとは如何にも心細ひ▲其れでは此年の夏はマーキを食ふ事は止めだ

▲廣告▼

生徒募集　京城公立高等女學校

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス
大正五年二月五日

入學志願者心得要項
一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿拾貳歲以上ニ達シ尋常小學校ヲ卒業シタルモノ或ハ本年三月末卒業スヘキモノタルヲ要ス
二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ
國語、算術、日本歷史及地理、理科、裁縫
三、第三學年ニ入學セシムヘキモノハ尋常小學校卒業ノ程度ニヨル右ハ相當年齡ニ達シタルモノニツキ左ノ學科目（本校第二學年修了程度）ニヨリ試驗ヲ行ヒ之レニ合格シタルモノ、中ヨリ選拔ス
修身、國語、算術、日本歷史、地理（日本、亞細亞、歐羅巴）理科（動物、植物、鑛物、生理衞生）裁縫
四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二日マテニ本校ニ到著スル樣差出スヘシ
入學願書、履歷書（以上本校學則ニ依リ認ムヘシ）
戶籍謄本（大正五年一月以後ニ謄製セルモノニ限ル）
學業證明書（小學校在學者ハ最近ノ學年度第一、二學期、其他ハ修業成績見込及本年三月末ニ卒業見込ニツキ當該學校長ノ證明セルモノ）
五、選拔試驗ハ第三學年入學志願者ハ來ル三月八日、同九日、同十一日、十二日ニ行フ志願者ハ左記物品携帶、前者ハ八日後者ハ十一日午前九時マテニ本校ニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ
六、上草履、半紙、筆、墨、硯、鉛筆、小刀、辨當
三月十一日　第一學年　選拔試驗日割左ノ如シ　國語、日本歷史及地理
三月十二日　理科、算術、裁縫、身體檢査
注意　トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルコトアルヘシ

生徒募集
本校本科技藝科併設普通學校各學年及兩校各學年補缺生徒ヲ募集ス入學願書三月二十五日迄。入學試驗四月一日。規則書及詳細ハ本校ニ照會アレ
京城府壽松洞　財團法人　淑明女子高等普通學校

初節句　豆雛豫約申込　自製陶器　（金貳圓）（地方送料廿錢）
陶製豆雛十四組　金具組立雛段附　模樣衝立附　櫻橘立花造花附　桐柾目組合箱入
東京新橋　三愛　電話新一六三〇

參圓の景品付　三愛陶會
三年の好評の珍陶器を每月配達致升一銀が有升から味を象つた景品向（送料卅錢）配送品は進物用に有益と興し
（會ノトモヲセ）　月每會費（金壹圓）　東京新橋三愛

莊嚴なる祈禱式
古色床しき硯箱を法王使節に贈る

仙臺漫遊中なる羅馬法王特使ペトレリー大司敎は來る十七八日頃京都、大阪を經て來神、元居留地天主敎堂階羅邸に投宿することゝなりしにつき同寺にては接待方につき準備中なるが幸ひにも先般來舊邸の奧に煉瓦二階造りの新邸建築中にて工事は既に落成し內部の造作は略ぼ方附きたるにぞ若し家具の備附及び裝飾が特使來神期日迄に間に合はゞ座敷開きは特使の來神を好機會として之を行ふべしと云ふ尚特使來著の際には神戶三百の信徒は一同出迎へ接見式終りて後同寺敎堂に於て莊嚴なる祈禱式を行ひ又信徒に向ひ一場の說敎ある筈なるが信徒間にては一同醵金により日本の古美術品を特使に贈呈することゝなり其物品は硯箱と決定し既に其向の商人より同寺に現品を納めしが此硯箱は金梨子地に雌雄兩鷄の高蒔繪にて其鍍加減極めて奧床しく中に靑石の硯と唐銅の古雅なる水壺あり總體を黃絹のクッションにて包み之を白木の函に收め靑絹眞田の紐を掛けたるものなりと云ふ(大阪支局)

繩まで嚙み盡す
八名の漁夫漂流實に四週日

英領コロンビアより華盛頓政府に到達したる報告に據れば去る一月十九日英領コロンビア州の海岸に沿うたる一無人島に日本漁夫八名を乘せたる小さなる木造漁業船漂著したるが檣折れ帆は寸々に裂けて殆んど見る影も無く彼等の語る所に據れば漂著の日より廿四日前伊豆下田の沖合に於て漁業に從事し居たる折柄暴風に遇つて離船し全く船體の自由を失つて以來只運を天に委せて流さるゝまゝに放任し食物全く盡きて曳索漁具に至る迄嚙み盡して飢を凌ぎ只渺茫たる大海原に怒濤と戰ひ廿四日目に附近通過の汽船に信號し救助を求めしものにて姓名未だ判明せざるも船主は病氣にてプリンスリュペル病院に入院し他は全部身體健全なりと(東京)

怖いのは獨逸と日本ばかり
米國の智識階級の胸を割つた話

像て米國視察中なりし大阪府工業試驗場長平田專太郞氏は十二日朝大阪驛著汽車にて歸阪せり其の談に曰く『昨今米國は

▲軍需品の製造 で大景氣を呈して居る全く彼等は聯合軍の兵站部で到るところ大袈裟な組織で盛んに製造してゐる、併し其の景氣は一般社會の生活上に何れだけ影響を及ぼして居るかと云ふに其れは少しも見えて居らず矢張り積年世界的不景氣に苦しんだ中流以下は依然として苦しんでゐるやうである

▲日本人に對する 感情は何うかと云ふと決して惡いことはない東海岸地方に於ては寧ろ好い方である、僕はピッバークに行つた時其所の三億六千萬圓の大會社たるウエスチングハウスと云ふ鐵工所の副所長が其の俱樂部で將來米國の假裝敵國は獨逸と日本である獨逸は二十七日間に四十萬の兵を米國に送ることが出來、日本は四十日間に三十萬の兵を送ることが出來る其所で巴奈馬運河が地元で軍事上充分の役に立たない時には米國は東西兩洋に十分の軍備をせねばならぬと云ふのである

▲米國の女巡査 は服裝が變らないから一見して判明し難い其の仕事は丁度日本の刑事巡査のようなものである、米國の警察界が腐敗してゐることは驚ろくばかりで、現に僕が居る際にも斯樣なのがあつた、或る金滿家の所ろへ珈琲を造つて來た妻君と家僕が飲むと直ちに中毒を起し半死半生になつた、早速警察に訴つて出ると『宜しい五弗を提供せよ直ちに犯人を搜査するから』とのことであつた、五弗を出したが犯人は一週間終つても檢擧されなかつた若しあの時五十弗か百弗出せば犯人は逮捕されて居たらう云々(大阪支局)

新六百六號が完全に出來る
鈴木博士の功名=近々市場に出る

歐洲戰爭が始まつてから日本の酒の値が騰ると云ふ騰つたと云ふ左黨に取ての可なり憂慮に堪へぬ恐慌が絕えず耳痒ばゆく影響でゐた其といふのが淸酒の防腐劑として用ひられてゐた獨逸輸入のサルチル酸が

▲バッタリ杜絕れ て了つたからで斯うなると獨り愛酒家のみの恐慌に止まらぬ釀造家の打擊は即ち國家的の打擊となる處から大藏省は一昨年釀造協會に根本的の應急方法を調査させ農科大學の鈴木博士が三共會社の工場試驗室に籠つて硏究した結果幸ひ完全なるサルチル酸を製り出す事が能きたので一昨年の釀造期は何の故障もなく過ぎ昨年も本年も日本の釀造家は安心して業務を續けられる事になつた加之

▲平時は一磅一圓 位しかせぬものが輸入拂底の上に原料の石炭酸が昂い爲現在の輸入持越品は約十二倍の十二圓と云ふ高値を示してゐるに關らず三共の一手で出來る現在の大藏省供給品は原來儲づくでやつたのではないから一磅の卸値段五六圓で濟むそれも昨年中比較的廉い時代に澤山石炭酸を買つて置いたから斯麼廉價に卸されるが今年のやうに滅法高いと一磅迄も十圓やそこらでは出來ぬと云ふ事だ、又釀造家側が何んな風にサルチル酸を使用するかと云ふに

▲一石に就て八匁 であるから一磅あれば十五石の淸酒が出來る譯で一升當りのサルチル酸の價格などは迚も算盤珠にも上らぬ譯であるが灘伊丹の大酒造家などになると數百磅のサルチル酸を要するから此點だけでも鈴木博士の功勞は大したものである又同博士は一昨年來苦心慘憺中であつたネオ、サルバルサン(新六百六號)を完成して製藥出來上り既う市場に出るばかりになつてゐるが動物試驗を擔當してゐる秦博士の硏究がまだ充分の域に達してない爲めに賣出を控へてゐる何故充分な成績を見ないかと云ふに此ネオ、サルバルサンの完全なる試驗をするには

▲重量十五グラム のモルモットを要する十四グラムでも十六グラムでも不可ん何うしても分厘間違ひなしの十五グラムでなければならぬ秦博士は昨年の暮から方々へ手を廻して十五グラムのモルモットを求めてゐるが何うしても手に入られこれには頗る弱つてゐる此新藥は効力は幾分緩慢でも注射が頗る簡單で醫師は首を長くして待てゐるさうだ

御下賜の駿馬來る
何も稀代の逸足

大皇陛下より寺內總督に御下賜の駿馬二頭は馬丁附添ひ十四日朝著連絡船にて釜山に上陸したるが何れも稀代の逸足にて其中大要は六歲にて體量百四十一貫丈五尺三寸二分鹿毛の二白黑星にして靑森縣の產、大機は九歲にて體量百三十五貫、丈五尺三寸一分鹿毛にて岩手縣の產、何れも大正二年より飼育調敎せるものなりと(釜山特電)

神宮用材
阿里山檜の大鳥居

明治神宮本殿以外の造營に使用すべき阿里山檜木賞(?)の爲め造營局參事桐山平太郞氏及び高橋囑託渡臺せるが神宮大鳥居用の末口三尺五寸餘の良材を始めとし三月中に六千尺締を臺灣より神戶に輸送する筈なりと(臺北特電)

電流を盜んで檢事局へ

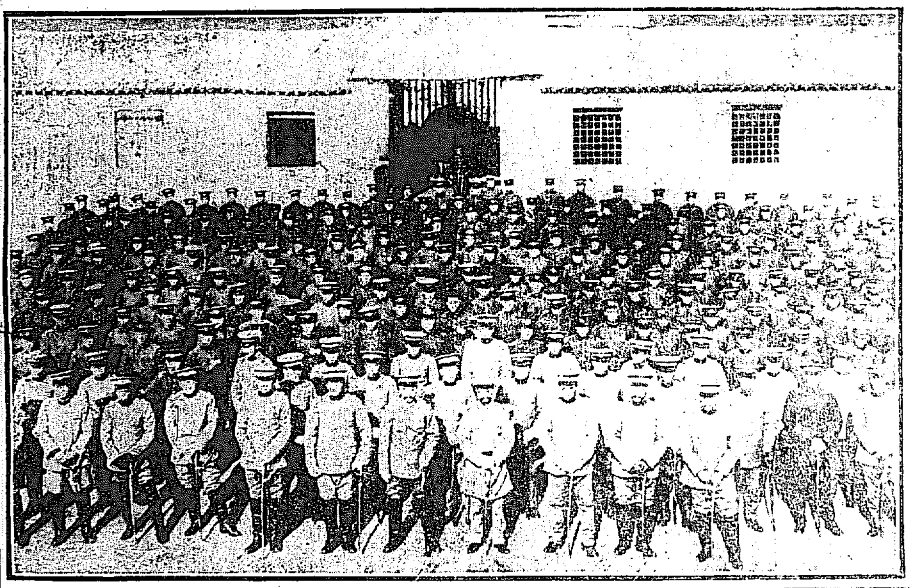
京城旭町一丁目十八番地質業一井辰次郞(四二)は大正二年一月より本年二月初旬に至る間日韓瓦斯會社より電氣の供給を受け居りしが此期間內電流の盜用をつゞけゐたるを同會社調査員後藤喜指が燭光檢査に赴きたる際發見本町署に告訴され審理中なりしが竊盜として檢事局送り

口中に雉彈一發

[illegible]町北阪本太郞は銃獵の爲め此程平安南道价川郡方面に出で行き外東面龍鉛里李基榮方に宿泊中八日午前十一時頃山野の狩りより歸宿せしも嚴寒の爲め手先きの自由を失ひしかば雉彈を裝塡せる十二番口徑の獵銃を安全裝置となし主人に之れを手渡す際危險なれば注意せよと氣を附けしも何分鮮語未熟の爲めよく主人に通ぜず主人は室內の壁に該銃を立てかけ置き炊事場に至りし所其場に居合はせし同面李泰來(三)と云ふ者珍らしき儘銃器を戶外に持ち出し弄びつゝ引金に手をかけたるより彈丸は轟然爆發白煙と共に發射し其の向ふに居合はせし同面吉祥里金來淑(二)の口中に命中したるより金は即座に無慘の最後を遂げたり急報に接し价川憲兵分遣所より佐々木上等兵出張李は過失殺人罪として安州憲兵隊檢事局に押送せり(平壤)

砲煙彈雨の四川軍

內外人の最も注目せる四川軍の戰も一勝一敗にして雨か晴か頗る疑問である、頑强なる雲南軍に對し持久戰を以て誇る陳宦將軍の北兵が果して敍州を解圍し得べきやこゝ暫くが見物である。寫眞は四川某假陣營に於て撮影せる四川軍の將士にして中央なるが陳宦將軍である。



大禮の御衣を下賜

洛西太秦の廣隆寺は秦川勝が聖德太子の命によりて經營せる寺院にして眞言宗古義派別格本山なるが同太子三十三歲の御自作の像あり古製の冠黃袍單衣下襲袴を衣とせるが之は歷代御即位の際には朝廷より御寄附せらるゝ御慣ひとなり居れば同寺住職鈴木敬順師は右の御儀より御衣の御下賜を申請中の處いよ〳〵御下賜の事に定まりしと承る而して御下賜さるゝは冠黃袍單衣下襲袴にて其筋より高田茂氏へ御大禮の際天皇陛下の召させられたるものゝ新調を命ぜられたる由にて出來の上同寺に御下賜せられ聖德太子自作の像に著せ申すなりと(大阪支局)

遊廓より出火

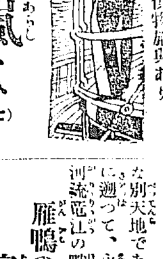
十一日午後十一時鎭南浦新浦里鮮人遊廓の中央なる久保雜貨屋方より出火し西隣り浦一樓方の鮮娼花遊亭方及び北隣りのものに燃え移らんとせしを所轄南浦署にて直ちに之れを知り警鐘を亂打し署員全部出動折柄驅け附けし消防組を指揮して活動せし爲め大事に至らず全燒二戶にて午前一時鎭火せしが發火の原因は火爐の火よりなるべく損害五六百圓なり(鎭南浦)

三浪津の火事

十二日午後八時三十分三浪津若松理髮店裏空家より失火全燒二戶半燒二戶十時漸く鎭火目下原因取調中なり

釋尊涅槃忌

野洞宗大本山別院に於ては二月十五日午後一時より涅槃忌法要を勸修し高田老師の法話あり婦人會よりの供物施與あり



濤よ嵐よ(七)
永興防備隊の生活
□這個別天地 學校も病院も!! 四時の好獵地!!

永興灣防備隊にはまた一つの鮮人學校をも經營して居る。學校は嶽に咸興の朝鮮婦人と結婚したので有名な浦川主計長の創設したものであるが校舍は防備隊から一里半程の長箭里といふ處に在る。校長は室城氏といふ熱心な敎育家で

校舍は亞鉛葺であるけれ共

目下生徒は八十餘名、此の邊りの貧乏な漁村の小供に文明の敎育を施すといふ聲は全く防備隊のお蔭であらう。殊に校舍=松田學校の附近は水田ばかりの寒村であるので從來は水田をそのまゝ畓村と稱して居たといふ事だが、今では毎月の四九日に市を開き、元山から來る

朝鮮雜貨だこか乾魚穀類等

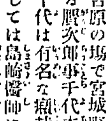
を賣るやうになつた。其の他防備隊の病院では附近の村民に施藥診察をもやつて遣るので鮮人は頗るこれを德として居る。防備隊の裏山は草木の高く繁つた所爲か近來猪、野兎、狸などが盛んに出て來る。此處の水兵がよく狸の毛皮などをぶら下げて居るので何處で獲つたと問へば毎時も裏山の罠でせしめたと笑つて答へる。其他

雉子も多く水禽類も多く狐

も居る。鳩はまた無線電信のある裏山豐武洞といふ處に、むかし虎が棲むだと云ひ傳へられた洞穴があつて其の中に行くといくらでも居るといふ。海ではまた石塊一つ持ち歸れば晩餐の肴に充分の牡蠣の御馳走が得られるとは、昔ばなしにでも有り相な別天地である。若し夫れ入江を奧に遡つて、永興の山奧から流れ出る河流龍江の畔に行けば

雁鴨の水禽は空を蔽て飛翔

して居る。目下工事中の元永鐵道が奧へ延びれば後にはまた此の附近にも支線が引き込まれるだらうとも云はれて居るが何と云つても元山附近武陵桃源の別天地である。(完) 金谷眞



丸髷會の芝居で白石醫師に[illegible]の新吉原の場で宮城野を演る贋次郞事千代木のお千代は有名な癇持ちで時々癇癪を起しては島崎醫師に注射をして貰ふ、それが大阪以來六年越の持病ださうだ▲ところで此宮城野が信夫の物語りを聞く內で『ヤヤ御養生も叶はなんだか……』と癇を起すところがあるが此の癇の丈は手に入つたもので六年越しの經驗から來たものだから頗る寫實でゆくだらう▲一山の近所に大きな農場を有て居る前代議士の小倉良則といふ人は邱電の社長小倉法學士の嚴父だが、頗る眞面目な人で近頃靑年の氣風が漸次軟弱になつてゆくのを慨して一切自費で大邱に武術の道場を建て自から劍を執つて靑年子弟に敎へてゐるが▲此の道場の敎師をしてゐる大邱警察の粟谷豐喜氏及び世話係の川野瀧次郞氏が公務の傍ら夜業行で寒稽古をうけたのに感激して今度老人秘藏の壽命丸と呼ぶ銘刀を粟谷氏に短刀一口を川野氏に贈つたさうだ

仁川通貨狀況

[illegible]一月中の[illegible]助貨一萬四百餘圓銀行券六十七萬三千餘圓にして結局十三萬一千餘圓を示し[illegible]貨の[illegible]は却つて[illegible]一千餘圓[illegible]過五千圓を減少し回收は三十一萬五千の證左たり日本銀行券交換支拂高は一萬四千餘圓にして前月に比し七[illegible]見るに前月米穀資金及び年末決濟資金として需要多かりし一圓紙幣及び[illegible]られて可なり[illegible]

入港壹岐丸 一二等客[illegible]

天氣 北西の風晴 [illegible]

土地家屋 不動產競賣廣告

▲第一場所 京城南大門通三丁目一〇三番地
▲其坪數 土地三十二坪建坪煉瓦三階建約八十坪
▲第二場所 京城南大門通四丁目五十四番地
▲其坪數 土地九十四坪建坪煉瓦二階建約百七十坪
▲日時 來る二月十五日午前十時より同十二時迄
▲入札場所 中華民國華商總會
▲保證金 見積金額百分ノ五

右之土地建物共今般競爭入札を以て賣却致し候間御希望の御方は御一覽の上前記の日時に御來駕被下度願上候也

京城南大門通四丁目五十四番地 王受益

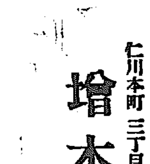
歐洲方面に於て米の需要頓に增加したりとは既に聞知せる所なるが是れ一は米食唱崇の結果なりといへり果して事實ならんか米界の前途は絕大の望みを囑するに足る現に神月飯多商會の如きは歐洲大亂の爲め缺乏の極に達せる船腹の一小部分を割きて僅かに需要の一部を塡するに過ぎるを遺憾とせるものゝ如し華客諸彥幸に機敏の調査を遂げられなば好個の材料たるを疑はず候以上

『致富の寶』無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人 ㊣橋猶商店
電話北長 二四八番 二五四九番 二五一〇番
振替大阪二四一七二番
銀行當座 北濱銀行堂島支店 加島銀行 山口銀行堂島支店
振込 三十四銀行

活動寫眞器械 百圓以上各種其他●常設館寫眞提供●巡業用出張フィルム貸付●臨時出張映寫學相談候
中形家庭用靑年會用活動寫眞幻燈兼用器械並ニ以上同小形幻燈附各種
●幻燈器械各種
●映畫●敎育●衛生●軍事●宗敎
●地理●科學●滑稽●農事●史劇
●風景●風俗●最新著出來
▲目錄無料進呈送料二錢(品目記入の事)
大阪市新町通二丁目(振替大阪一九三二二)
寺田淸四郞商店 電話西一四三一番・一四三三番
博多中島町(電話八七九番) 寺田九州支店

冬は血を增せ體を肥せ
植木へでも寒肥し
次亞燐人むの飽迄强壯
本舖 大阪道修町 製劑所 小西久兵衛
●發賣 小瓶五十錢 中瓶九十錢 大瓶一圓六十錢
●取次販賣各藥店にあり

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢四厘金 壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

醇良淸酒

白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

……萬三千券……餘圓）市場へ撒出高は七十九萬七千餘圓（日本銀行券十一萬四千餘圓補助……が如く支那ノ……千餘圓の多額を示したるに由り補助……萬五千……にし……回收超過……要……く米収……沈滯に基因するものにして通貨收縮したるに出る……更に通貨の流通狀況を……

◎連絡船上陸客　十三日午後……

間島がだんく開ける
到るところ朝鮮人の白衣を見る

成鏡北道の淸津港から目下工事中の淸會鐵道線に沿うて國境會寧に出たら江を渡つて足一度間島の土を踏むと見渡す限り

■萬頃の沃野 に驚くであらう今の淸會線は土地磽确なる咸北の中でも別して荒涼なる山間の峽道であるけれ共圖們江を隔てゝかくも地質が異ふかと云ふ事は實に旅行者にとりては意外な感じである。間島の沃野は會寧から四五里の地點なる瓦艮哈嶺――それは往時加藤淸正の

■遠征を以て 有名な峰に於て脚下一面海の如く展けて居る、別けて日本領事舘のある龍井村及び局子街附近の沃野は實に美事なものであるこれが毎年秋期の收穫の時季ともなれば丈け高き高粱の畑に白頭山颪がサラ〳〵と鳴て猶打ち續く黍や大豆の畑には黑衣辮髮の

■支那人の間 に驢馬に騎つた白衣の人も見受けられる、山來間島は支那人の間島たるよりも寧ろ朝鮮人の間島たるかの感がする奈何となれば其の廣袤わが四國に餘る東間島の住民はその十中の九分までは半島から移住したわが朝鮮人である、打ち見る處昨今間島の曠野には積雪の跡だに無けれど

■寒い朔風に 吹きさらされた綏き波狀の丘陵は其の絶巓に至るまで鮮人農夫の手に耕やされてある、併しながらこれ等多くの移住民は何れも皆幸福な生活を送つて居らぬ、彼等は孜々營々として勞働するけれ共何分にも朝鮮に於ける失敗者のみの寄合か左もなくば一時排日の

■妄想に驅られ て移住した連中の事であるから其の利益は何れも支那人地主の手に壟斷されて了ふ、昨今でもよく一輛の牛車に世帶道具と子供を乘せて寒い國境の野原をトボ〳〵と歩く夫婦伴れの鮮人を見受けるが彼等の小作する耕地も今はずつと山奥に行かねば見出されぬといふ事である、それに今は

■朝鮮內地に 居ても割合に樂な生活が送られるからといふので再びなつかしい故鄕に引還しつゝある鮮人もある猶昨年の滿蒙條約では鮮人の土地所有權にも前の間島條約と牴觸する處があるとかで目下わが領事舘と延吉道尹の間に交渉中であるが中には支那官憲の主張通り先方に

■歸化した上 で所有權を獲つゝある移住民もある、間島に於ける內地人の努力はまた微々たるもので龍井村には鳥渡した雜貨屋がある局子街には見出さなかつた、併し淸津港を經て奥地に輸入せらるゝ雜貨日用品類はなか〳〵多く局子街でも淸津で漁れた鮮魚の刺身を喰べた程で將來國境の貿易は頗る有望であらうまた

■奥から出て 來る貨物は主に粟と高粱であるが昨年吉林省の饑饉の爲め目下防穀令を布いて居るから昨今はたゞ間島名物の白小豆が出るばかり、毎日三十頭餘りも打ち續いた小豆の支那駄馬が國境の街道を通るのも面白い眺めである、有名なる天寶山銀鑛も近々着手する筈、頑迷なる排日の徒も昨今では天下の大勢に抗する能はざるを悟り大に覺醒し來つたやうである、兎に角間島は有望な廣き沃野である（秋山視學官談）

◉東海岸の激浪に峙つ麗島燈臺の燈
鰯と鰊が面白いやうに獲れる

○元山灣の灣頭、麗島の南端にある白堊の燈臺は渺茫たる日本海に向つて聳えてゐる、凄じい浪が島の絶壁を洗ふ大吹雪の夜でも燈臺の光は静かに海面を照らしてゐる、島嶼の多い元山灣口を出入する船舶はこの燈臺を賴みの綱としてゐる、

○二月十一日の晴れた朝、麗島の燈臺から灣內を望んだ、近い高島、石根島、遠い松島、會沙島の頂きは雪に蔽はれてゐる、薄墨で刷いたやうな葛麻半島の南、元山市街を擁した望德山は白妙の衣を纏つた様に見える、眼を轉ずると虎島半島に近く、白帆が二つ三つ浮いてゐる。

○燈臺守の生活――遠く市街から隔つた離れ小島に住む燈臺守の生活程味氣無ものは無い、數多い東海岸の燈臺の中でも名の響た麗島の燈臺は通過する船舶が多いだけに燈臺守の責任が重い、その燈臺守の眼には平線上幽かに煤煙の見えた時よりも船の影が彼方に消え去るのが物悲しく映ずると云ふ、毎日毎夜同じ事を繰り返して行く馴れた身にも是ればかりは不思議だといふ

○島の南端、幾丈とも知れぬ絶壁を眼の前に控へて怖ろしい波の音、寂しい風の囁きに耳馴れた燈臺守には島近く通過する汽船の汽笛が戀しく懐かしいやうだ、絶壁の上に立つて俯瞰すると岩に激する浪の飛沫に濡れた水鳥の低う舞ふのが眼の覺める程ど美しい、麗島近海の水鳥はペンキン島に似てゐる、腹が白く背が黑く、短い翼を擴げて低く飛ぶ

○麗島近海では昨今鰯と鰊が漁れる嵐の歇んだ朝には磯の白い砂の上に鰯が打揚げられてゐる事がある。引揚げた網を見ると銀鱗が日光に映じて美しく輝いてゐる（元山支局）

◉水原本一會の美擧 京畿道水原郡水原にては各町毎に種々の團體又は組合等の組織ありて各親睦を圖り居りしが同川本町一丁目に於ても本一會なる組合ありて會員五十餘名あるが會員家族中池田れん（八五）松岡かの（八二）齋藤しん（八一）の三名は何れも八十歲以上の高齡者にして昨年御大典に際し恩賜の天盃を下賜せられたるは同會の名譽なりとし同會に於ても更に木盃三個を調製して同人等に贈ることに決し去る十一日紀元節の吉辰を卜し同日午後四時より同町日新學校に於て贈呈式を擧げ加茂幹事長開會を告ぐるや會員の祝辭各受贈者の答辭等ありて式後直に懇親會に移り席上藝妓の手踊會員の隱藝等ありて近來稀に見るの盛況を極め主客十二分の歡を盡して散會せるは午後十一時なりし

演藝

▲御成座 ○○○ 京城東亞一座 五日の替りは……役割左の如し 大藏卿、長吉（海老松）お京、お絹、仙太郎）おはん（菊駒）常盤御前、常盤ばゝ（梁造）……

▲壽舘（鳥瞰）吉岡野次郎（利一）義經、義平（茨橋）長吉（錦門） 浪花節武藏大掾　桃　松野巴合同一行にて十四日より開演その語り物大の如し 紳崎與五郎東下り（武藏富久男）小栗判官（京山八千代）河治新田三八娘（戸川啓次郎）吉田一奴）都新聞連載 辨天ケ子。柳生十兵衛漫遊紀（桃松野巴）一休 世嗣録。硫士銘々傳（武藏大掾）三味線（京山月子）

▲旭扇會を聞く　十二日の晩旭

扇や太▲玉村扇玉の太山道遊から聞いた婦人に込み味は未だ若い〳〵▲水野扇勵は『重松中将』は珍らしい力のあるふし廻だが場當りの爲か急の如きものだこんな廣い場所で歌ふにはあまり聲が優し過る▲水波扇櫻―『鞍の韃』是丈に歌へれば申分なし天晴れ旭扇會の花形だ▲合奏―二百噸の輸出行はれつゝあり而して之に接し難き傷め注文に應じ……長く短く面く四角な十一人からのせふざ凝らした門下の婦人が師匠旭扇を中心に舞台に颯爽と陣た張りての富士山の合奏は聞きものより見ん事なり▲佐川旭道の『七騎落』は圓熟して來た聲にも落つきと圓みを持つて彈法にも隙がない▲深田旭富―『本能寺』『鋼次馬運の歡迎』大に喝采――……ぜふざ柔も荘重に老眼鏡も氣に入つた風の加減か随分奇聲を發して鋼次運の御愁斜めならず賞に人氣者加田だつた▲江島旭房―『村上喜劍』旭扇門下の随一なり巾のある澁い聲は村上喜劍の面目躍如たり彈法に今一息の努力を要する▲最後の『臥龍寺』は旭扇の十八番、錆のある澁い聲、旭扇獨特の節廻しに一寸他の模倣を許さない處がある。あの大きな五絃琵琶をやせた身體に抱き込んで彈き鳴らす攻め手の緩急には滿場殆んど醉はされて居た。

○○○○むきみから煮○○○○

鍋の中へよく洗つたむきみを入れ火にかけ御飯杓子で騒ぎ混ぜて蓋をし、煮立たせ……少しの砂糖と醤油とを削鍋にあげ少しの砂糖と醬油を加へ手早く煮立たせ、其中に詰め生姜の微切を入れて再び汁を煮つめ……ざるにあげ鍋の煮汁を……一寸位からくつくだ煮の様に煮削るのです

商況

債券現物特電

十二日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	七二、〇〇
日韓瓦斯	
朝鮮銀行	一五八、〇〇
朝鮮瓦斯	一一八、二〇
南滿鐵道	一五一、〇〇

東京公債直取引特電

十二日出來値段（前日との比較）

甲 五分特別	九五、九〇
五分利	
一回四分	八三、〇〇
二回四分	八二、九〇
甲 五分	九七、〇〇

深川在米特電

十二日現在高

朝鮮米	一八一、八九〇
內地米	一九八、四三九
計	二〇三、二〇一

東京期米特電

十三日前場

	高	安	寄付	止め
	四、〇〇	四、八八	三、七六	三、七六

大阪株式特電

十四日前場

種類	前日	寄付	後場
東京株式			
大阪株式			
日本郵船			
大阪商船			
東洋紡績			
同新			
大日本麥酒			
京阪電鐵			
阪神電鐵			
宇治川水電			

大阪三品特電

十四日前場

限月	前日	寄付
二月限	一二、七二〇	一二、六八〇
三月限	一二、八〇〇	一二、七七〇
四月限	一二、八七〇	一二、八二〇
五月限	一二、九五〇	一二、八八〇
六月限	一三、〇八〇	一三、〇八〇

大阪期米特電

十四日前場

當限寄付	一三、〇九〇
中限寄付	一三、三九〇
先限寄付	一四、一〇〇

止め……

雜報

◉人造肥料一轉 人造肥料に對する海外注文は今や印度カルカツタ方面より引合せ續々として其引合せと相對し價格毎に二百噸の輸出行はれつゝあり而して滿洲方面よりも頻りなる注文に接し是れは適當の船腹を得難き爲め注文に應じ得ざる有様なるが要するに二三百噸宛の纏りたる注文の多き事が實際の上より觀て將來ありさうし斯業界の歡迎する所なるも是等の注文よりは却て內地に於ける米價の强含みの爲其需要は益々旺盛を極め肥料業者は何れも好況を呈し來れるより原料高價の形勢に伴ひ製造業者は何れも一同の態度を示し出でつゝ同業者の協定を結ぶ結果協定せざるも自然の間に引上げ行はれ居るが若し大阪に於ける原料協定にして破裂するが如き事あらんか乎大日本人造の如き豊富の原料を有する向は寧ろ利あるも一般の製造業者は爲めに困難を來すべく……

◉株式更に不勢 昨一……

◉燐寸は持合 燐寸過般仁川次で一般先高に一圓五十錢を留らしたる以來何等の異報なく從つて一般に……

◉落付模樣 ……

◉靴底皮革値上 靴底皮革は最近に至り其製造會社たる日本皮革が百斤に付き五圓及び明治製革は同三圓の各値上げを爲せりと云ふ

◉化粧品類の今後 化粧品其他の原料及び容器包装材料等の暴騰に連れて近來化粧品製造業者中に寄々値上げの協議ありと傳へしが其內一二商店類は既に値上げを爲せし模樣なるも京城同業者に對しては未だ何等通知なし或は小賣業者の運賃甚しき折柄單に之が爲に値上げに過ぎざるべきかとも思はるゝ節あり此際なれば製造側に於ても値上げは非常に慎重に審議を遂ぐべく……原價又は原價を切込む迄に至るべしと

仁川米豆取引所仲買人
利 仲買店
電話長九〇五番　電信略號 利

下關相場

●小豆は据り 其後北韓白小豆二十叺同花小豆三十五叺等の商内顯著に過ぎざるのみならず各産地とも別に急がざるに依り格別市況弛まず然れども依然當用小口への賣れ行きは左れば市況引立たず之れが成行きは別して市況引立ちて相場据り居れり●色豆類は不引立、是又依然賣り急ぎ物引はれずして市況安しと云ふ

◉綿糸益々良好 前日來買氣頗る旺盛を極めし大阪三品は十二日益買氣高に更に買氣な刺戟し同日先物百三十四圓二十五錢の高値を見しが休日明けの今前場は當限一圓三限七十五錢先物五十五錢高に寄付……健實なる歩調は飽迄……

仁川米豆取引所仲買人
海岸町
三巴仲買店
電話長二三、七三九　電信略號（三）又ハ（三巳）

◉粗布更に値上 粗布は……更に四圓方の値上げ……

◉外の騰貴 細布……約二十圓內外……

◉寒冷紗昂騰 寒冷紗は……

◉一層在荷の拂底 ……

◉傳ふ約二割方 ……

◉新海苔出廻良好 東京よりの近狀によれば乾海苔は近々出廻り順潮となりたる……

◉廻の增加す可く 先行益々出……

京城正米

▲朝鮮一等白米（當用）十三圓八十錢
▲同上一等白米（當用）十三圓九十錢
▲同二等白米（當用）十三圓四十錢
▲永同大豆　九圓六十錢
▲元山大豆　九圓九十錢
▲慶尙大豆　九圓五十錢
▲平壤大豆　九圓八十錢
▲同　八圓八十五錢

京城雜穀

前週より賣物は其後引續き弗々出廻りあり……依然持合の姿にて……

南大門の廻米

前期よりの移動……

十三日分		
鳥致院米	一七五叺	會泉湖院 七〇叺
鳥山白米	二三〇叺	平澤白米 五六叺
鳥致院米	二四二叺	平澤 二四叺
鳥山白米	二一〇叺	水原白米 二七叺
鳥山籾	一四三叺	
十四日分		
鳥山白米	三五叺	水原白米 三六叺
鳥山白米	五八叺	鳥山白米 五六叺
新川籾	一五〇叺	鳥致院米 二二叺
鳥山白米	一四〇叺	金堤白米 二四叺

仁川現物市場

▲穀入津 昨今三四十俵短配安入氣なるも入津皆無の狀態……

仁川期米

▲十四日前場 大阪前寄十四日前場三百石……

市場零聞

▲前場動かす ……

▲氣迷ひの不動保合の散會 ……

▲前場の手振り ……

▲又復保合乎 ……

▲一時附替の利 ……

▲一向賣向 ……

▲挑戰を試む ……

▲期米前途觀 ……

▲中限戰の成行 ……

▲目先出穀薄 ……

▲大阪の軟弱を受け ……

▲軟派 ……

▲硬派 ……

▲滿洲方面 ……

▲其他の需用に ……

仁川米豆取引所
十四日の四月限

	寄	高	安	止	附	
前場	十圓九十五錢	十圓九十七錢	十圓九十八錢	十圓九十六錢	十圓九十五錢	
出來高	六千六百五十石					

	一節	二節	三節	四節	五節
後場	十圓九十七錢	十圓九十七錢	十圓九十七錢	十圓九十八錢	

賣買取組高

二月限	二千八百五十石
三月限	四萬九千七百石
四月限	二萬六千三百五十石

出來値比較

十二日後場　前日と比較

一〇、九〇	三安	
一〇、九七	二安	五安
一一、〇一		

北濱だより

▲砂糖株の前途

……

▲明煉の樂觀說

……

特約 廣瀨勝吉商店
仁川海岸町 取引所仲買人
確實 迅速
電話 六三六番 六三二番 二〇

米期
大阪市北區堂島濱通一丁目
定期米賣買之栞無代進呈
前金注文は紹介を要せず
大阪堂島米穀取引所仲買人
入江商店
電話北四 六五二〇 六五一〇

謹近火御見舞 仁川新町 金物商 美濃谷榮次郎

謹近火御見舞 仁川京町 本莊酒店

謹近火御見舞 仁川新町 後藤連平

謹近火御見舞 仁川新町 魚市場 山中

謹近火御見舞 仁川新町 若見屋 古屋小間物店

謹近火御見舞 仁川新町 サ五屋 佐竹藥店

謹近火御見舞 仁川新町 仁川官煙販賣組合

謹近火御見舞 菊池病院

謹近火御見舞 仁川新町 大清菓子舖

謹近火御見舞 仁川新町 奴亭本店

謹近火御見舞 仁川新町 履物商 まからず屋

謹近火御見舞 仁川仲町三丁目 鉱力商 青井由松

謹近火御見舞 仁川港新町二丁目 麵商 金本德治郎 電話百七十四番

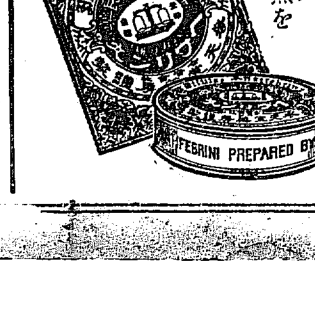
漫りに投機心を挑發し、相場大に遣ろべしと爲す者に非ざれ、堂島市場の中樞地、雄大なる期米戰を試みんと欲せば、定評ある本紙によりて、市場表裏の消息に明通せらるべし

每月二回發行 大阪今延米報 無代進呈
取引御希望の方に營業案內並に富の栞を進呈し更に新裝の週刊『今延通報』を以て市況御參考迄に御報可申上候

大阪堂島米穀取引所仲買 今延商店
電話北長四六八・四六九・四七〇 自宅南長四五六番

婦人科 產科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
（電話二二三四番）

ハカリ印
油斷大敵！
かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。



大阪田口のヘブリン丸を ハカリ印のヘブリン丸と改稱

內科 小兒科 皮膚病 花柳病
入院隨意
京城日出小學校前 院主 醫學得業士 多々見五郎
多々見醫院
電話九四〇番

七ふく ひえぐすり
本家 大阪高津表門筋松屋町西 七ふくや 伊藤長兵衛 振替大阪九七三番 電南七貳九番
ひえくすり 本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし婦人病（俗にひえ、しつ、こしけ）胎毒其他皮膚一切の諸病脚氣水腫によし
價 定 半週分 七ふく入 金拾五錢 壹週分 十四ふく入 金貳拾錢 三週分 四十二ふく入 金八拾錢 五週分 七十ふく入 金壹圓廿錢 丸 藥 金六拾五錢 散 藥 金貳拾四錢

昨夜近火の際は遠路の處迅速御馳付被下難有存候混雜の際尊名伺洩れも可有之候に付乍略儀以紙上御禮申述候
大正五年二月十四日
仁川 八 鬼頭兼次郎商店 朝日洋行

世界無比 白馬ウ井スキー
ばい毒 素人治療 無代送呈
ハガキに病名を記し申込め內容書……
化學上の新智識を簡易の內服藥に應用せしものにして時日、苦痛、費用をも要せず自宅に於て安全經濟に其效も又偉大なる簡便家庭新自療法なり。
東京本所向島小梅町 東京藥化學研究所

報 京城測候所 十五度六分 四度七分 十……（辰午） 前日中最低溫度 零下九度一分
日出 ……

越後大評定

第百三十席　早川貞水口演

大野次郎兵衛の拷問

鐵平いま、足輕長屋の空部屋へ雨を避けて休んで居ると、時は四月の温暖かい時節ではあり、途中一杯やつて來た酒の酔が出て、其まゝ前後も白河夜舟、寢込んでしまつたが、尻夜中不圖眼を覺し四邊を見廻すと空屋の足輕長屋『是はしたり、餘り降りが強いのでグッスリ寢込んで了つたが腹は空る、明火はなし、見當も付かぬ、是は困つたものだ』と鐵平獨言を云つて居ると、隣の足輕部屋でペタリッ、ペタリッと云ふ音がする『ハテナ餅を搗いてるやうだ、彼處へ往つて餅を買つて來て空つ腹を癒さうか知らぬ……イヤ餅搗にしちや折り／＼妙な聲で唸るやうだ、何事だ知らぬ』と壁の破れ目から覗いて見ると、小栗兵庫の屋敷へも始終出入を致します、小栗美作の股肱と頼む目付役、大野次郎兵衛を、足輕四人が引捕へて左右より『サア白狀しろ白狀しろツ』ひつ叩く、から終に耐らず次郎兵衛が何事か言つてるのが、小栗／＼と時々聞える、扨ては小栗家の一大事、己の所の旦那様はあゝ云ふ忠義に引換へて、御本家の美作様は、御家へ手を掛けた大惡人とあつて當時嚴しい御謹愼、大惡人とは云ふもの、己れのためには大切の御主人、兵庫様の御兄上、其御兄上が惡事露見、御處刑になるやうなことがあれば、主人の兵庫殿も罪がゝる縁の免がれぬ罪、コリヤ旦那様の御難儀を救ひたいものだ、然うだ、今から直ぐ兵庫様の御屋敷へ立戻り、此事を訴へゆく……イヤ待てよ、兵庫様へ訴へて兵庫様の方から御兄上様の方へ沙汰する迄には、此足輕共が永見様の御屋敷へ、大野を引立つて行くに違ひない、然うなつた日にや間に合はぬ、コリヤ寧そ彼奴等が此處で悶頭へ／＼してる間に、早く美作様の御屋敷へ驅け付け、殿様へ一大事と云つて御面會を願つたら、縱令御閉門中でも、御家の一大事と聞かれたら、御會ひ下さるだらう』と鐵平は乾度思案を定め脇差を差直し頓て小栗美作の閉門屋敷へ驅付け、表門をドン／＼ドン／＼　鐵『御門番／＼　番『何人だ、閉門屋敷の表門を叩くのは、靜にしろ』鐵『私で御坐います、御別家兵庫様の若黨取鐵平で御坐います』番『オゥ鐵平か何の用だ』鐵『御家の一大事、小栗様御兄弟の御一命に係る事と存じましたから、此大雨の中を急いで御注進に參りました、私の御主人兵庫様へ申上げ、夫れから此方様へお知らせ申して居つては間に合ひませぬから、直ぐに此方様へ參りました、希うか御前様へ此事を申し上げて下さい』門番驚いて『それは大變だ』と直ぐに主人へ右の趣申し上げると、美作は早くも『さては忍びに遣はせし大野次郎兵衛を、御爲方の奴共が引捕へ、其處から事が起りしならん』と覺り、遽て庭前へ鐵平を呼出して　美『鐵平であるか』鐵『是は御前様御機嫌宜しう』美『時に一大事の注進とは如何なる次第なるか』鐵『他では御坐りません、今日あの御目付の大野次郎兵衛様を、江戸表へ御使に御立て遊ばしはしませんか』美『如何にも次郎兵衛を忍びの使者に遣はしたが、其人が如何いたした』鐵『其大野様を一番部屋の足輕田口勘十郎が引捕へ、足輕部屋へ連込んで居ります』美『なに、大野が捕へられたと。』

つて往來する旅客を一々取調べて居る之れ獨探が爆裂彈をもつて不穩な事を行ふから其取締りの爲めである

▲●少女の偵察伍長●　露國のボヤン地方の戰地でグルスッエンコと名乘る一伍長は危險なる偵察任務に服し重傷を負ひたるにも拘はらずよく其任務を全うしたが此伍長は實にシエルニアウスカと言ふ妙齢の少女である事が判つた

▲●竹越夫人の參禪●　落選代議士竹越三叉の夫人竹代子は熱心なキリスト信者であるにも拘はらず此頃南天棒の許へ參禪し熱心に座つて居る其爲め和尚から禪竹大師の號を得た

▲●天盃から●ゴタ／＼●　御大典時に下賜された天盃に就ては少なからずゴタ／＼があつた其れ等は凡て府縣當局の失態に屬する現に愛知縣でも三個天盃がどうかなつて仕舞ひ千葉縣では一個盜難にかゝつた其處であの低能知事と稱せられて居る佐柳が天盃の製造元へソッと一個注文に及んだそれが宮内省へ聽え大盃僞造とあつてウンと油を絞られたさうだ

▲●ゴム園のジゴマ●　新嘉坡方面にも近頃ジゴマが跋扈しゴム園主に對して頻々と金を强要するものが出て來金のある輩は大に困つて居る

お聞きなさい

▲●同乗飛行女の言●　ニコ／＼倶樂部が婦人同乘飛行者を募集した、其應募者の中に小澤雪子(十九)と言ふある同乘希望の動機を訊問したに對し雪子の談がいぢらしい『妾の父は四歳の時に日露戰役で亡くなりました妾は其頃からして亡なつた父は天に輝く星の中に居る事を信じて居ります妾は飛行機に乘つて少しでも父の座に近寄りたいと思ひまして』と

▲●手鞄の警戒●　紐育では近頃鞄を持

露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯
滿蒙處分論
定價金一圓四十錢　郵税本社負擔
京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇

二月十六日九星
舊正月十三日　癸未
本命八白　良　取　先勝

▲八白●　野幕穿鑿の事有日　新事見合東方は吉　敍良　▲九紫●　請込よき日　轉居行商　入學名弘　企件求職　探　縁組牧畜業を始むる等皆吉　▲一白●　趣り難き事有日　新事手控事は吉　一切のせわ事せぬがよし　▲二黒●　紛まれ閉口の事有日　新事手控事は吉　萬落して困るべし　▲三碧●　厄解き事有日　新事手控事は吉　萬落他成就は妨なし　▲四緑●　[illegible]　▲五黄●　力身損の事有日　新事手控事は吉　[illegible]　▲六白●　[illegible]　▲七赤●　古き疑ひ去り新に幸福を得る日萬進んで吉待人近く來る

演藝案內

大連色活動寫眞株式會社特約一手代理店
黃金町四丁目　電話二六三七　黃金館
二月十一日より特別大興行　○實寫歐洲戰亂　○エクレア週報　○稽古コイアの間
○新派家庭劇ふたおもて　○大阪朝日新聞連載小説　菊池幽芳先生傑作　全二十六卷
○泰西人情劇潔き心(此子此母)　全四卷
○實錄四谷怪談　全四卷　百五十場

本町　電話五七八　壽座
新派劇角藤派木村淸憲一行
二月十四日替狂言
一番目　想夫憐　八場
二番目　京人形　一場

櫻井町　電話八七三番　大正館
二月十三日より新寫眞と差替
○實寫時局活動寫眞
○奈西大悲劇　母の悌　全三卷
○新派大悲劇　琵琶歌　全三卷
○舊劇　旗本金太　全三卷七十六場

新龍山　佐久良座
新派自然劇團三輪寶一行
二月十四日藝題
前狂言　酒の罪　十一場
喜劇　皮財布　五場
植木屋文助(三輪)家主重兵衛(水谷)車夫清吉、魚屋熊五郎(水野)女房お仙(池田)警部谷口(西村)鈴木誠一(香月)摩)警部山岡(乾)馬島健藏(播下女お安、丹次郎(都島)文子、藝妓三千歳(司)下女お友(藤島)子分八藏(美小藤)娘おかつ(福田)酒屋德平　咲)子分三太(木村)金公(水谷)

電話一〇五〇　町　壽館
武藏大掾、桃松軒巴合同大一座大阪親友派の浪花節來る
二月十四日より毎日午後六時開演入場料の如き未曾有の大低減大勉強特等席金十錢其外
二階の全部早い勝ち
二月十四日の演題
神崎與五郎東下り(武藏當久男)小栗判官(京山八千代)明治新聞三人娘
田啓次郎(吉田一奴)都新聞連載辨天春子、柳生十兵衛漫遊記(桃松軒巴)
一休悟道錄、義士銘々傳(武藏大掾)
三味線(京山月子)

電話二一九一　町　御成座
二月十五日替狂言
前　一條大倉卿
切　桂川連理柵　全五冊
大岡政談　二場
一等四十錢二等二十五錢三等十錢

明治町　電話二六〇番　浪花館
◉京山若月　京山恭爲合同大一座
今夜の讀物
△三ツ瞬勇士譽(京山爲春)△野晒勘三郎(吉田若春)△平井權八(長講)
席京山若月△女天一書生のお富(河内)十八斬(長講)二席京山恭爲
○晴雨に不拘每夜六時より必す開演
仕候

本品は又復大正四年十二月十五日
國產展覽會に於て
宮内省御買上の
光榮を辱ふせり

東京で一番評判の高い一番賣行の數を有する
美人となる化粧料
ホーカー液

ホーカー液の効
▼色を白くし、キメを細かにし
▼アレを防ぎ艶をよくし
▼白粉下、白粉のトキ水に一番よく生來色白く見え
▼子供衆の肌を丈夫にし男子方の剃刀後、朝夕洗面後によく
▼四季の日ヤケ、白粉ヤケを防ぎ
▼香よく香水代用をなし
▼常に缺さず用ひられば毎時美しき若々しき美顔となる

定價小瓶廿錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢
送料内地　八錢　滿鮮　三十錢
内外到る處の小間物、化粧品店、藥店に販賣す
若品切の節は直接本舗へ御注文被下度送料は切手代用にて
近來僞物を賣る不正商人あり御注意の上御買求めの節は本舖へ御一報願上候

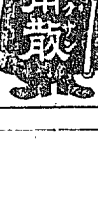
名譽金牌於衛生博

東京和泉橋
本舖　堀越嘉太郎商店
振替東京二四一一八番

太田胃散
●飲過ぎ食過ぎに妙なり
定價十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舖東京吳服町　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

名賞牌　虎印
コマリ
東京　藥販賣元

慶北道廳御指定
東拓會社御指定
旅館　加賀屋
慶北尙州　館主　大岸廣
熟練の料理番を增雇し特に御來客の待遇に注意致させ候へば何卒御愛顧の程願上候



風藥の元帥　烏犀角散
いかなる大熱も即効顯る
風は萬病の基…一般衛生家の常備藥
殊に惡寒發熱頭痛咳及はしかの疱瘡を快癒す
(價十錢二十錢五十錢十五錢三十錢(郵送料二錢))
本舖…名古屋市小路通…小林盛大堂
大阪平野町小林大藥房　東京豐島町藤井藥局
◎皆製…全國藥店名知ば若金直送郵券不苦

約百圓の資本にて一ヶ月五百圓
純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案器械
說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町
振替東京一六六八八
大澤商會

醇良清酒
仁川本町四丁目
吉金酒店
電話七六四番

美人
堺市大道錦之町
福助堂
容多き云ふ事が花切
密謚○○○内
手十五錢送直送

無病無効入替者
壹劑を試よ
英氣を增し爽快を感る奇藥也
無代贈呈
滋強丸
◎効能の說明
陰萎、無力、無能、夢精、早漏、短縮、麻痺、貧血、神經衰弱、老衰等
一週八十五、四週三圓廿錢　全國各地

一般の實驗效能
證明品に添付
五六日試み一見卓効を呈す
一週非常に効顯
其効顯著しく服用後…
外不用入有効

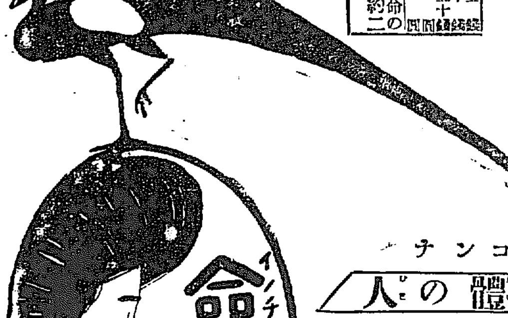
可愛い子寶だのも
第一等の婦人藥
命の母の御蔭なり
いのち　はは

なんな女のやまひの方々は
早く召されよ此靈藥を！

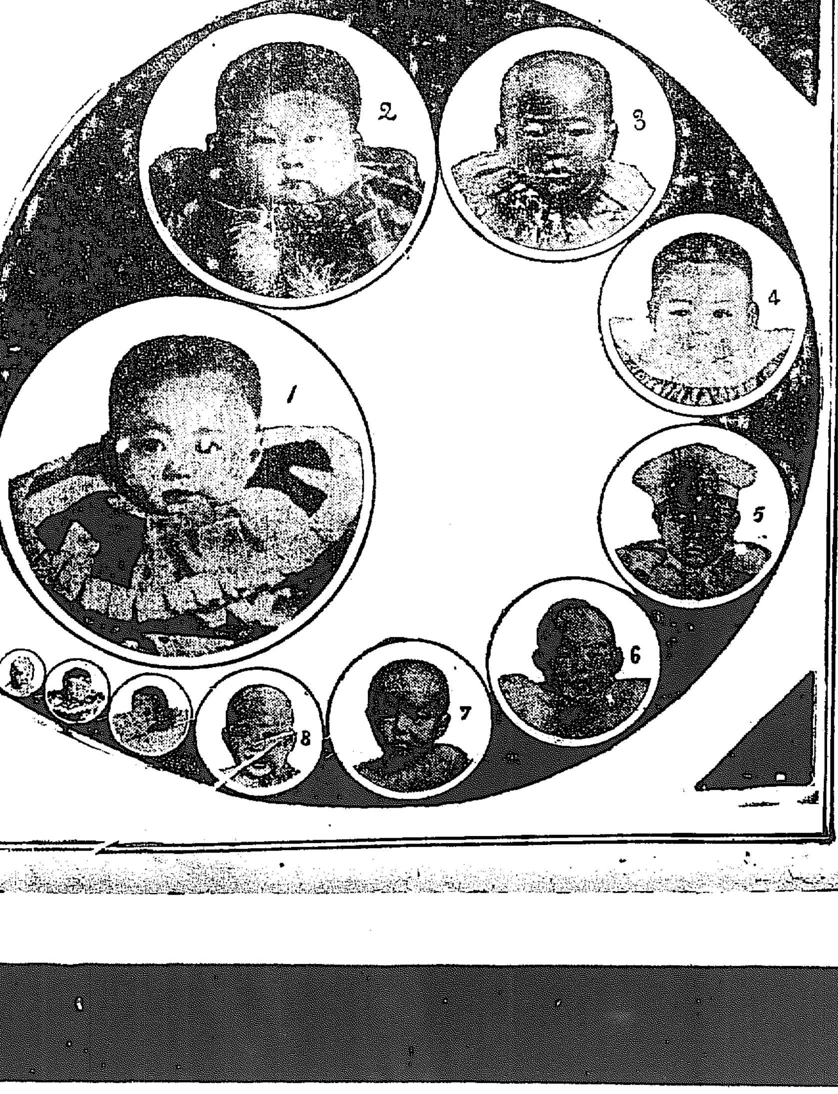
藥價表
廿日分壹圓五十錢
七日分八十錢
二週間分一圓四十錢
五週間分三圓五十錢
十週間分五圓
此外加減命の母藥價は約二割增

切に高國到る處の有名藥店にて販賣す
品切の節は本舖へ直接申込あれば直送す

コンナ
容體の人
●白帶下ながく血に苦しむ人
●脚腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて脊肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又胸先へ差込む人
●卵巢炎、輸卵管炎の人
●浮腫痺れ痛氣の人
●腦神經衰弱の人
●貧血顔色惡き人
●頭痛眩暈に苦む人
●癇癖ぶり心悸亢進の人
●安產肥立ちを望む人



婦人科專門醫學士　佐藤北島西牧先生著
婦人病者心得(ハガキで申込ば進呈す)



最近實例の一斑
(1) 神戸市元町三 弓張小林 文平
(2) 長州萩町齋藤氏 愛兒
(3) 高松市福田町川口 文代
(4) 高知縣高岡郡西村 原 美
(5) 上州利根郡 沼津 太郎
(6) 常陸東茨城郡 阿部小信 松村
(7) 栃木縣 松崎郡 賀 與吉
(8) 備中淺口郡 船田利 根寺
以下略す

本舖
東京京橋區新榮町四丁目
電話京橋二一〇二番　振替東京五〇五番
笹岡省三藥房
大阪市東區淡路町一丁目
電話本局貳貳五番　振替大阪三二八〇番

京城日報

大阪株式 五一七〇　大阪三品 二六六五〇

十五日朝刊 (第三千三十號)

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金七十五錢 [illegible]

廣告料 [illegible]

發行所 京城日報社 京城太平通一丁目

發行兼編輯人 奧田直[illegible]　印刷人 [illegible]政太郎

京城日報 朝鮮統治の一進轉機(三)

何をか朝鮮統治の一進轉機と云ふ、憶ふに以上叙說したる如く、既往五箇年間に於ける總督政治の顯著なる好成績を示すを得たるは、萬般の施設周到綿密、其の宜しきに適したるによる可しと雖ども、要するに腐敗紊亂殆んど其の極度に達したる朝鮮の秩序を恢復し、憔悴せる蒼生を撫育し、以て帝國の基礎を鞏固にし東洋の平和を維持せんと欲するに在りたれば、主として彼等の正義と平和との觀念を堅實に養成せしめざる可からざる必要最も急務なりしゆゑに、其の施政は重に消極的方針を執りたるによる。總督が從來懇々として彼等の奢侈に趨くを誡飭し、勤儉力行の美風を鼓吹し、而して滔々たる不健全の事業亂興を抑へだるも、實に之れが爲めなりき。然れども爾來五年利用厚生の施設は、遺憾なく普及し、政務の諸機關亦殆んど完備し、紊亂せる社會の秩序は恢復し、瀕死せる蒼民の生命は蘇息し、鮮内一般の人氣大に昂り、經濟界に異常の發展を來し、財政の基礎亦漸く堅實ならんとする機運に向ひたれば、今日は最早や從來の如く、主として消極的施設をなす可き時にあらず、宜しく百尺竿頭に一歩を進めて、積極的方針を執り、以て朝鮮の大開發を期せざる可からず、吾輩が今日を以て朝鮮統治の一進轉機と云ふは之れが爲めなり、されば此の積極的施設は如何にして實行せらる可きか、如何に當局が善政良法を施行するも人民が之れを活用し、適用し、而して順應するにあらざれば、到底其の目的を貫徹すること能はず、故に今後積極的施設の方針により、大に朝鮮を開發せんと欲せば、第一官民の一致を要す、由來日本人には官尊民卑の弊風ありて、官意下達せず、民情上達せざる傾向あり、爲に官民の意思間隔して疏通せざるものあり、是れ昔時は官吏其の威光を笠に著、傲慢にして下民を輕蔑無視、甚しきは虐待酷遇したるによれども今日は寧ろ人民の我儘勝手より其の意思疎隔して反目するもの勘からず、其の原因を探究すれば、元來日本人は餘りに官に依賴し過ぎるより來るなり、彼等は官に依賴すれば、何事にも其の慾望を達し得らるゝものと心得、若し其の目的遂げられざる場合には、即ち官吏を以て不親切なりとて怨恨するに至る、斯くして官民の一致は到底期待すること能はず、總督政治其の宜しきを得、今や豫期の計畫を遂行して遺憾なきに至りたるは、固より官民一致の戮力も與つて力あるに相違なかる可しと雖ども、吾が業者は更に一層奮發して獨立的精神を發揮し、官に親●賴●して依●賴●することなく、官も亦人民に信賴せしめ狎●狃●せしむることなく、官民相一致戮力して積極的事業に從事せば、朝鮮今後の發展は、期年ならずして更に又大に見る可きものあらん第二に吾輩の切望する所は、朝鮮人と在鮮内地人の協同是れなり、憾ふに事業家として日本人の缺點は、協同一致の精神に缺乏し居るに在り、獨り在留内地人のみならず、在外日本人の大發展をなすに困難なるは、此の一致協同的精神乏しきも亦其の一原因たらずんばあらず、故に彼等をして其の位置吾より低しと思ひ居る朝鮮人と相ひ提携して一致協同せしむることは、容易の業にあらざるが如しと雖ども、僅少の在留日本人が、一千三百萬人の鮮人を度外視して、大事業經營に成功することの不可能なるは、寔に覩易き道理なるのみならず、彼等は五年間の直接經營に於て之れを實驗したり、されば此の大多數なる鮮人を扶導し、誘液して互に懇親和睦、一致協同諸般の事業に著手せんことは最も必要のことたらずんばあらず、寺内總督が今回其の論告に於て『朝鮮人が斯くの如く秩序ある生活に蘇生したる上は内鮮人相提携して諸般の事業に從事し、以て東洋の時運に貢獻せざる可からず』と云ひしは、最も吾輩の意を得たる所なり、斯して此の朝鮮統治の一進轉機に乘じ、積極的施設を實行せば、朝鮮の前途は曖々として旭日の東天に昇るが如きものあらん、又奚ぞ併合當初の目的を貫徹するのみにして止まんや。

マルサス生誕百五十年記(下)
彼の所論―時局と人口問題

△人口と食物　理性は全然感情に打克ち得るものに非ず性慾は將來に於ても現今より減退すると無く從て人口の增加を抑止し得ない、人口の增加は生活資料の增加よりも更に急速である、元來吾人々類の生殖慾並に生殖力なるものは如何なる事情の下又如何なる時代に於ても常に必ず同一にして此兩者の結果たる人口の增加は、年々死亡に依て減少し行く人口を補充して餘あり、然るに一方吾人の生命を維持する食物の分量は其割合に增加しない、蓋し食物を產出する土地及び其生產力には自から一定の限度あるが爲めである、勿論人智の發達、技術の進步、資本勞力の增加は土地の生產力を增加せしむべきも而も其の增加の割合は甚だ遲々たるものにして、到底迅速なる人口の增加に伴ふべくもない一對の夫婦が平均四人の子を產むとせば二十五年毎に人口は倍加する、即ち人口は一、二、四、八、十六といふ幾何級數(即等比級數)で增加するに反し、食物は一、二、三、四、五といふ算術級數(即等差級數)で增加するに過ぎない、故に若しも人口と食物との增加が何等の妨碍なく行はれむか、如何に富有なる社會に於ても結局生活資料は人口を養ふに足らぬ事となるだらう、若しも人口が過剩を告げずとせば、井は畢竟其實現を妨げる他の事情が存するからである、即ち戰爭、饑饉、殺兒、捨老、營養不良、勞働過重、疫病流行等、人口增加の勢を事後に制限するところの『積極的制限』及び[illegible]情、避姙、[illegible]放逸等事前に豫防するところの『豫防的制限』此の兩者は絕えず人類の各階級に亘つて働らき、以て人口の過剩を制限するものである、而も之れは何れも悲しむべき事實である

△弊害の救濟　斯くの如く今日の社會の窮迫、從て生ずる此世の罪惡は一に全く食物の增加は人口の增加に及ばずといふ自然の理法に由來するものである、されば之が救濟策として或は賃銀の引上や、救貧法の實行を唱ふる者あれど是れ却て人口增加を致すものである、故に其の救濟法は先づ一般に流行する早婚の弊を矯正するに在る、一般世人殊に下層社會にありては能く獨立自活の途を得、子女を發育し得る見込が立て始めて結婚するの風習を作るべきである、下層社會に於ける克己と節制により正當なる豫防的制限を普及せしめ以て不幸なる子女の增加を遮け以て食物と人口との調和を圖るの消極手段に據るの外、天下又一般に時弊を矯め時艱を濟ふの良策は無い、

△研究の好機　以上は即ちマルサス人口論の眼目である、彼れの理論には後の經濟學者が首肯し能はざる缺點もある、即ち心理上及び統計上の誤謬或は獨斷に傾むく點も尠くはない、然れども彼れが『人口の增加率は食物の增加率に優る』と明言せる所は牢固不拔の眞理である、且つ夫れ彼れが時弊を摘發して當時英國の救貧法を以て却て貧民の獨立心を消磨せしめ害あるも益なきものと警告せるが如きは實に千古の卓見と稱すべきものである、彼れの誕生百五十年に當る二月十四日を以て我邦の經濟學者間にマルサス記念會が開かれたのも亦故ある哉、今や歐洲は大戰の巷であり幾多の生靈は砲火の犧牲となり、マルサスの所謂『積極的制限』によつて歐洲の人口は著しく減少しつゝある、從て今日人口問題は各種の關係上極めて重大なる研究問題である、此機會に於て我邦の學者が最も機宜に適せる問題を捉へて研究せん事を吾人は希望する、米國に對する歐洲移民の減少問題の如きは少くとも有力なる研究物の一だ。

極東市場より
獨逸品驅逐策(二)
哈爾賓商業會議所の建議

□露國品發展策　要するに歐洲大亂の發生するや貨物取引市場に大滯を招き哈爾賓市輸入商は何れも商品の缺乏並に其補給策に關し甚しき困憊に陷り爲に當地輸入外國貨物は平均二割乃至四割の昂騰を來し斯くして從來其價格比較的低廉なりし外國品も今や略露國品と同一となるに至れり故に此際極東市場に向つて露國品の販路を開拓するは實に千載一遇の好機と謂ふも決して誇張の言にあらざるべし而して我商品輸出發展策の第一步としては現時の輸送法を改良し一層の迅速を計ると同時に其の運賃を輕減すること最も急務なり若し夫れ歐露の工業地と極東消費市場との間に貨物定期輸送の途開け且つ其運賃低下せられむか我が商品の滿洲輸出は蓋し異常なる發展を來すに至るは疑を容れざるなり

□獨商の販路擴張法　極東に於ける獨逸商人の販路擴張法を見るに實に賞讚に堪へざるものあり、即●ち●彼●等●は●豫●め●其●地●の●狀●況●を●詳●細●に●調●査●し●之●に●適●應●する貨物販賣方法を講ずること之れなり彼等が貨物の販路を拓くや支那商人に向つて盛に直接信用掛賣を行ひ聊も意に介せず之れ實に獨貨の勢力一躍伸張し遂に列國品を驅逐し今日の勝利を贏ち得たる所以に外ならず、元來信用取引なるものが現時の商業上如何に肝要なるかは今更吾人の喋々を俟たずとも明かなるべし、獨逸商工業者は夙に玆に鑑みる所あり頻りに信用掛賣策を施して遂に北滿市場を獨占するに至りしなり

□獨逸工業と資金　更に顧へつて獨逸工業に對する資金供給の狀況を見るに餘裕綽々たるものあるが如きを以て極東市場に於て三箇月乃至十二箇月延拂の掛賣を行ふも何等痛痒を感ずることなし、然れども之と同時に彼等は購買者の代金支拂不能より受くる損害を豫防せんが爲め隨所に所謂輸入商館なるものを設置し顧客の信用程度を綿密に調査せしむると同時に更に進んで自國商品の紹介に努め其の注文に便せしむ是れ哈爾賓市に此種の商店勃興したる所以にして今や其數二十有餘を算し而して獨逸品の販路日に益々擴張を告ぐるにも拘らず之に伴ふ危險の極めて少なきは一に其の商策宜しきを得たるが爲にして斯くして遂に今日の勝利を獲得し極東市場を自己の獨占場と化し讙堡商人をして獨貨なくんば同地は亡ぶべしとさまで揚言せしむるに至れり

京城雜筆
山縣生

△明治學術界の耆宿加藤弘之博士永眠せらる。明治思想界の進步は精神界に於ては新島襄氏、經濟界に於ては福澤諭吉氏、學術界に於ては加藤博士に負ふ所最も大なり。新日本の建設に寄與したる三氏の功績は永く忘らるゝことなかるべし。

△加藤博士は科學者として宗教を信せざりし人。博士の葬儀は十二日青山齋場にて[illegible]されたる筈なるが、誠に博士の所信を貫く所以にして、我等は多大の興味を感ぜずんばあらず。記者は博士の如く、全然宗教を排斥する能はず、さりとて基督教徒にもあらねば又佛教徒にもあらねど、葬儀を宗教の儀式に依らざるは私に贊成する所なり。

△記者は常に世間一般の葬儀の意味あるが如くにして甚だ無意味なるを感ずる者。經を誦し、花を捧げ、香を焚く、死者の爲めになすか、生き殘れる親しき者のためになすか。靈魂一度離るれば死せる肉體は木石に異ならず。これに對して花を供するも經を讀むも何の用をかなさん。

△思ふに葬儀は死者の爲めよりも生き殘れる親近に多少の慰安を與へんが爲めに行ふもの。かく迄立派に葬式を行ひたれば、定めし死者も滿足なるべしとの、多年の習慣によりて養はれたる一の想像を滿足せしむるが目的なるべし。果して然りとせば葬式を華麗にし、千金を之に費して吝まざるは、猶美衣を著して虛榮心を滿足せしむると同じ。之を爲すは人々の自由勝手にして、批難するの限りにあらねど、同じ金を使ふならば今少し有益に使ひたきものにぞある

△例へば慈善病院に死者の紀念の爲めに一の病床を設け、之を維持するの基金を寄附し、其の利子によりて常に一人の貧困なる患者に施療せしむるが如き其一法なり。學校に死者の名を以て奬學金を寄附するが如きも其一法なり。其他考ふれば他に多くの名案あるべし。

△近來葬式に於て途中の行列を廢するは常事として何人も怪まざるに至れり。これ確に一進步なり。讀經燒香の如き儀式の略せらるゝに至るの時もやがて來らん。加藤博士の葬儀の如何に行はれしやは記者の多大の興味を以て知らんと欲する所なる也

朝鮮短歌會選歌
―十一日第一例會席上互選―

(三點)

然うですか何を言てもそうですかと合槌を打て歸りし彼哉。　廣司

大いなる抱負をもちて勵せざる君の瞳の强きかゞやき。　露峰

小鳥等も吾側に來てうた歌へさびし男の一人行く山。　南花

眞晝なる野に耳あてゝきゝ給へはる待つ調べ遠く妙なり。　南花

落ちし穗を拾ひに來ては逃げてゆく不安な命もつ小鳥かな。　北星

ともすればなげやりとなる我心心かなしもこの心はも。　芳子

ヘチマ會句錄

漢山莊の懐いく二月の十二日、狩りたてた同人は、どれもこれも變哲なヘチマどもばかり京城南山の麓に於て發會式を擧げた、名づけてヘチマ會と云ふ

柚人のなき火も淡く春淺し　其右

春淺き酒幕の朝の暾ひかな　三鳴

南縁に春まだ淺き日向ぼふ　柳風

髯剃りて平民づらや春淺し　秋紅

荒廢の砂の光りや春淺し　一步

古松一見網干の浦の春淺き　井洋

篆字成りて刀執る窓や春淺し　三鳴

春淺し浦曲の朝の眞帆片帆　柳扇

亡妹の春未だ淺き日記かな　秋紅

獨馬牽く小諸の村や春淺し　井洋

裳曳く雛妓社頭に春淺し　秋紅

春淺し我がいたつきも稍癒えし　井洋

柚の打つ斧の響や春淺し　三甲

京日案內

◉普通(一回一行金三十錢(無割引)匿名一回毎に金五錢增)

◉貸家　別莊又は官吏向に適當な家屋あり　居拔の儘御相談に應ず　大和町二丁目六四　山口大助　374

◉勸誘　女中被雇度　市內獨身の方へ　不在中は勝手に栽縫を許さる方へ　御希望に應じ本人參上○姓名在社　375

◉看護婦募集　希望者は履歷書携帶本人來談あれ　仁川　小倉病院　371

◉外交員採用　午前中來所　黃金町三ノ二四一　日華生命保險株式會社出張所　369

◉種苗　福引大景品付代價表進呈　北海道札幌區　札幌農科大學正門前　367

◉雇入　年齡十七八歲の店員二名至急入用希望者來談　新龍山三角地娛樂園角電話四九番　島田金物商店　366

◉店員入用　年齡十四五歲市內に確實保證人を要す希望者至急來談　○京城本町二丁目▲大阪屋號書店　365

◉女中入用　齡廿歲前後の操行良き者希望者至急に　○京城南山町二丁目　松を　361

◉讓店　目下好況收入多き京釜線所在料理店歸國に付き至急格安讓極力御便利可斗候　▲(姓名在社)　362

◉古本買入　▲御報參上　京城本町二丁目　森田文光堂書店　363

◉募集　產婆見習生　希望者は履歷書携帶午前中本人來談　京城本町三丁目　今村醫院　電話一八三　356

◉外交員採用　年齡廿五歲以上希望者履歷書携帶來談○京城本町二　▲大正生命保險株式會社京城支部　344

◉古本買入誠實　御報參上　京城本町一丁目(明治町筋)　電話二六三六番へ　野村書店　319

◉古本品拂底に付無比高價買入　御一報次第即刻參上▲京城本町四　電話二七八一番へ　書肆群書堂　315

番外(一回前金六十錢(無割引)匿名一回毎に金五錢增)

◉二月十五日より大安賣　○東京玩具…雛と人形外一切の玩具　地方は御注文次第送附す(壽館前)　○京城本町二丁目▲佐藤玩具店　373

寫眞　一技師給卅圓以下修整を能くし一般技術に通ずるもの　一生齡十七八歲普通教育を受け但し市內に確實保證人を要す　至急本人來談◉武橋町▲菊田寫眞館　364

姙婦產婦御預り致升　▲經費僅少出產安全　申込次第入院案內書送る　京城產養院　南山町二の卅五△電話取次一三九　299

▲節句と雛菓子　カステーラ三色羊羹は各金牌受領の　京城本町二丁目　永田亭　電話八六五　359

恩給　年金類低利長期立換短期　不便なる地方在住者上京に及ばず其他擔保信用貸仕候　○京城南大門外御成町　山口屋　338

はねつぎ　うちみ　くじき　治療　◉電話二千五百九十五番◉　◉明治町交番より東　◉フランス教會前　荒川仁壽堂　336

開業　產婆鹿川わき　新龍山漢江通(東本願寺下)　日本赤十字社救護看護婦長　電話三六番　不如意者に限無料御依賴に應す　生計　329

恩給年金類立替　▲勸業貯蓄債券月賦販賣即金買入　京城本町二丁目五三　京城銀行橫小路入　吉田屋　322

書畫 桐箱製造　京城日の出町五番　東京藤井出張　電話二〇五　308

朝鮮煙草株式會社

新製品大賣出

中卷細卷

弊社は衞生上經濟上の見地から特別品を除くの外は總て中卷細卷の煙草を製造することに極めました

○煙草は衞生上相當の効能はありますが餘り召し上り過ぎては却て御毒になります

○太卷一本の煙草の量目は約二分ありますから一度の召上りには多過ぎます太卷煙草が三分の一以上喫み殘りて火鉢の中に累々として居りまするは論なき證據であります

○其三分の一も只ではなく相當代價の掛りて居る品でありますから中卷細卷を召上れば自然御養生にも御儉約にもなります

○中卷だからとて細卷だからとて太卷一本の代りに一本半なり二本なりを召上るものではありません詰る處中卷細卷は御養生の上にも御經濟の上にも御德用の品であります

添て申上まするは卷煙草の製造費は略原料三分五厘工賃六分五厘の割當故捲方を細く致したからとて左のみ製造費の減るものではありませぬ夫を大奮發にて何れも金五錢にて三十二本入定價差上ますから今日世間流行の景品を付ける餘裕は更にありませぬから聊か心ばかりの印迄に二百個限り空袋二十個御持參の方へは何日にても午前九時より午後五時迄御來車の上籤を御抽下さるれば直に景品を差上げます

景品種目

等	品	數
一等	貴婦人持金側(一個)一個宛	二本
二等	桐簞笥一掛宛	二本
三等	柱時計一掛宛	五本
四等	貴婦人用鏡臺一個宛	五本
五等	上等提袋一個宛	十五本
六等	硯函壹個宛	廿五本
七等	卷煙草入一個宛	百五十本
八等	葉書入一個宛	六十八本
九等	寳入一個宛	五十本
十等	三越特製鉛筆一本宛	七千六百七十八本

右の外籤票と申す　御德用向四十本入定價五錢の中卷口付煙草を發賣致し居りますから御買求を願ひます

京城長谷川町八十六番地(朝鮮ホテル隣り)

京城販賣店

電話一八五七番

口付中卷

口付細卷

▲十四日後場 [illegible]

△後場崩し [illegible]

△今の大賣物 [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

後場中限 [illegible]

十四日の四月限　十圓九十六錢 [illegible]

二月限	二千二百五十石	
三月限	四萬九千[illegible]百五十石	
四月限	二萬四千[illegible]百石	

○漢口革黨蹶起計畫

秘密結社組織―王將軍の探査

漢口に於ける革命黨は最近天社と稱する秘密結社を組織し其の本部を汕頭に置き支部を各所に設け各地同時に事を擧げんとする計畫あり而して王將軍は之に關する政府の訓令に接し警察及び軍隊に命じ嚴重に探査せしめつゝあり（漢口電報）

○熊希齡態度疑はし

北京より南下したる熊希齡は四川將軍懷柔の爲め袁總統より密旨を受けたるものにて熊は漢口に於て數千萬元の金を調達し四川に向ひたるが其の態度頗る疑はし（北京特電）

○張勳命令を拒絶す

袁總統は張勳に對し威武軍を率ひ湖南より貴州に攻め入るべしとの命令を發したるも張は長江の不穩に托し拒絶せり（上海電報）

○協商と聯合國會議

聯合國間に於ける密接協商

羅馬來電に曰く佛國首相ブリアン氏及び伊國外相ソンニーノ氏は十二日會見し聯合國間に極めて密接なる協商を結ぶの目的を以て能ふ限り速かに巴里に於て聯合國會議を開會すべき約束を爲したり（倫敦電報）

○日支滿洲銀行案と同志會

日支銀行及び滿洲銀行案決定に關し同志會特別委員は十四日午前院內に會合し片岡、濱口兩總務も參加し內議を決したる上竹內作平氏をして心中成効を疑慮せるものに對して交渉せしめ其の同意を得て左の如く態度を決定せり（東京特電）

●日支銀行法の原案を是認する事
●滿洲銀行は一覽拂手形發行に左の附帶決議を附して原案を是認する事
●滿洲銀行に於て一覽拂手形を發行する事は其發展上缺く可らざる必要條件なりと認むる故に政府は必ず之を許可せられん事を望む

○下院分科會

十四日午前衆議院豫算第五分科會に於て廣梁灣及び警務總監部豫算目的違ひの件は政府の處置を不當とし海雲臺土地買收の件は政府の措置を是認することに決議せり（十四日午後五時十五分總督府著電）

○東拓法改正案

一政府委員談

政府は東拓法改正案に對する政府與黨側及び反對議員緩和に非常の努力を試みつゝあるが右に就き一政府委員の語る處に據れば東拓今日の成績良好ならざるは否む可らず殊に同社が自ら地主たらんと試みつゝあるに就ては之を改むる必要あるも今遽かに其補給を絶たんは法人の發展上忍び難き理由あり此間の事情は議員側に向つて秘密會を要求し委細說明するに至るべく監督權を總督府に移する處あらば多分反對議員も是を諒とするの可否に關しては勿論議論の餘地あると認むるに吝ならず云々（東京特電）

○大藏證券發行

大藏省にては十六日を以て鐵道特別會計所屬大藏證券五百萬圓を發行する筈なるが其條件は日步九厘償還期限三月二十五日なりと（東京特電）

○伊國大使東上

新任本邦駐劄伊太利特命全權大使コツキポアン氏同夫人令息は十四日敦賀著東上すべし（大阪特電）

○井上中將出發

交通旅團長井上陸軍中將は滿洲に於ける陸軍飛行視察の爲め十五日午前八時三十分東京驛發列車にて出發する由（東京特電）

○段氏の征南拒絶

奉天商務及び工務總會の發企にて□に農商部の公布せる農商銀行規則に

○二十師移駐濟

○滿州かるた大會

○動亂と清室の憂

雲南事件の起りて以來綏遠方面を初めとし到る所不穩の形勢を示し其間往々宗社黨勃起の風聞を傳ふるより北京政府の清皇室に對する警戒頗る嚴にして清室の前途又憂慮に堪へざるものありとし瑾太妃は世續と協議の上一方袁總統に辯明の書面を送り一方宗室の人々を招き輕擧妄動して皇室の滅亡を招くが如き事なからん樣戒飭するところありたり（北京）

○陝西油田と英國

米國スタンダード會社は支那政府との交渉中絕後も尙陝西油田の試掘を繼續し居たるが三箇處のボーリング皆失敗に歸したるより技師は更に四川方面を試驗すべく本國より機械を取り寄せ中なり去れど四川に於ける石油の採掘には將來英國の抗議を受くるを免れざる可しと（北京）

○米の群山（一）

中島生

先づ是れ丈けの人にお會ひになれば群山の事情について纏まつた話が聞けるでしよう、細かく見て下さい出來る丈けの便宜は計りますから。と天野府尹は暖爐の傍で種々と打解けた話の末に紹介の名刺を僕に渡された。府尹は小生の恩師天野爲之博士の令弟である。博士と瓜二つの府尹の顏を見ながら僕は十年の昔あの教室の窓に綴ひかゝるやうに茂つた杉や檜の樹の間に洩れて來る和らかい光線を受けた質素な講壇に立ちながら、アダム、スミスやスチユアート、ミルなどの主として英國派の學說に基づいた經濟學の原理を快活に流暢に、而して親切に講義された天野博士の溫容を偲び、その懷かしい昔を回想せずには居れなかつた。それほど府尹の顏が令兄博士に酷似して居るのであつた。

府尹室を辭して僕は天野氏の好意を無にしないやうに先づ紹介された所を訪ねることにした。

朝鮮に來てから滿二年になる間、殆ど地方に出掛ける時間の餘裕を有しなかつた小生は、井中の蛙の如うなものであつた。京城は朝鮮の都であるが、京城の營養分は地方に求めねばならぬ。朝鮮の開發は即ち朝鮮の地方開發である。夫々の富源を有する各地方が開發される事が即ち『朝鮮産業の開發』といふ總括的標語となる。小生は自分の仕事の關係から各地方の經濟産業の狀態に關する新聞の材料を取扱ふ機會に接する事が甚だ多い。其等の材料を取扱ひながら私は常に自分が地方を目あたり見ぬ經驗の頗る乏しいことを殘念に思つて居た。然るに內部外部の局面の變化は今後小生等をして機會を造つては地方に視、地方を紹介するの自由を與へるやうになつた。乃で小生も先輩鯨洋君が忠南の縱橫旅行をした後から方面を群山に選んで地方訪問と出掛ける機會を得た。小生にとつては頗る愉快な次第である。自分の事ばかり申して甚だ相濟まぬ、御挨拶は切り上げて少しく群山での所見所感を御意得たい。

○公州慣業院

（十四日朝刊の續き）

院生をして業務としては常に秩序ある生活に馴致せしむる爲め起床及び就寢時間を一定し晝間は主として市街除穢事業に從事せしむる傍ら院直營に係る農場耕作を副業とし夜間は院內に於て草履草鞋製作に從事せしめ賃金は各個人の技能勉否等を斟酌して一日一人二十錢乃至二十五錢の

▲支給を得せしめ　又敎育は每夜三十分乃至一時間國語を敎授する外每週一回修養講話を爲し以て德育智育の涵養に努め食物の主食物は下白米と大豆との混炊とし副食物は本院の自作に係る附屬農場より産出せる野菜を供給し以て農作趣味を惹起せしむると共に食費の經濟を圖り又勞働賃金は每月末に於て當月分を精算し食費其他必要なる費用を控除したる殘額は之を本人の所得として郵便貯金となさしむ每月少くとも二十錢多きは一圓內外を斷行せしめ保護解除の際交付し職業の資本其他有用の資に充てしむ。尙將來收容人員の激增を見ば現在の市街除穢事業の外

▲邑內附近に於ける　土工の勞役に服さしむべし今大正四年度に於ける收容人員中男女共前年より十人新被保護者三十人合計四十人にして內自活せし者六名他人引渡七名逃去三名歸鄕十二名の出院者を見て現在に於て十二名の在院者を有す而して延人員に見れば四十四年以降二百四十六名、大正元年に於て二千二百三十八名、二年に於て二千二百三十五名、三年に於て四千八百八十一名四年に於て三千百九十三名の多きに達せり又被收容者以外の保護者を四年に四十一名三年に三十三名二年に五十七名元年に二十九名四十四年以前に於て二名を種々の方面に於て救濟せり、又大正三年迄の

▲保護解除者成績を見るに農業に從事せるもの十四人、坑夫に二人、酌婦に一人、日稼十七人、行商三人、僕婢四人、商傭三人、船乘一人、米商一人、敎師一人、小使一人、草鞋製作一人、荷車挽一人、犯罪者五人、不明四十八名、死亡三人の就職者を見たり而して院の經費は大正四年度收支を見るに

收入　二、九四九、四六七〇
支出　二、二三九、〇五五

此の繰越金七百十圓六十一錢五厘大正四年度に於ける收容人員內地人四名鮮人二十六名計三十人解除人員內地人三人鮮人二十五名計二十八名現在收容人員前記十二名也開院以來金品寄贈者團體を合し百七十六人現役

忠南縱橫記（十一）

鯨洋生

◎大田には諸種の金融機關、製造所等ありて何れも堅實を呈しつゝある中に於て、最も前途に嘱目せられつゝあるは忠淸皮革會社なるべし、同社は昨年の設立にかゝり、日尙ほ淺きも彼は天然の有利な事にし、從つて其の製品の卓絕なるは卽ち忠南の前途を祝せしむるに足る。◎忠南の牛皮は朝鮮他道に比し最も優秀なるは既記の如し、即ち忠南の牛皮は從來皮となすに際し使用の皮膠少なるが故にして、所謂厚からず薄からず鞣上革皮の全部が使用に堪ふるを以て他所の及ぶ處に非ざるが故なりと。◎革皮界に於て皆忠牛皮なる物は、優等品として取扱はれつゝあり、然れども其の牛皮中には爪あり頭ありて所謂上に多大の損を生ずるも忠南牛皮に於ては、是等雜物なきが故に今や忠南牛皮は慶尙牛皮以上の位置を占め居れり以て如何に其の優秀なるかを知るに足らん◎忠南の牛は他道に比して體軀小なり、使用上より云へば多大の勞力に堪へず、牛其のものより云へば他道に比し大に劣り居るも、効用上より云へば此の小軀が却て剝皮に優秀な牛皮上より見れば此小軀に基にして即ち能仕事なせず、優しく育ち居れば從つて牛皮の組織も自然に柔かにして耐久となし使用する點に於ては乾燥法完全なりと、然れども現在に於ては所謂剝皮を生ずる點なるが故に腐敗せるもの多きは、進歩せざる鮮人乾燥法を用ゐざるとする其の改良は焦眉の急に屬す。◎忠南皮革會社は此の優秀品を擬に買收し使用し居るが故に、其の革皮の善良なる以て知るべきのみ目下鞄用、革鞄用、其他の精巧な製品は朝鮮內は勿論より遠く滿洲に輸出しつゝあり、されど戰爭の影響は斯界に迄及び使用藥品の騰貴と共に値上げの止むなきに至るべしと◎朝鮮各地に監理所及び支店等を設け、小東拓會社の觀ある朝鮮興業會社の大田管理所も亦同地にあり、其の管轄土地は京畿、忠北、忠南に及びて水田千五百二十六町畑三百二十六町草生地九十一町を算し小作料約一萬千五百九十八石を買取しつゝあり◎要するに大田の將來は、商業地として發展、工業地として頗る有望の前途を有し、既に其の發展の氣運は益々として萌芽しつゝあり、殊に其地位に於て最も有利なる占め居る以上、更に一層の同地有力者の奮闘勉勵を以てせば、其の面目を一新するや敢て難にあらざるべし。◎終に臨んで旅行中各地にて多大の便宜を與へられし我諸君に深謝す。（完）

財界時言

（二月十四日）

○歐洲の戰亂により我日本の經濟界は打擊を蒙むれるものもあれば、濡れ手に粟の儲けに有り付きたるものもあり。今日にては、戰亂の影響は不利なるよりも有利なるの多く顯れ居るが如く、其れが一般的好景氣を誘ひ來りつゝあるは慶ぶべし。

○近頃內地にては種々の成金が簇出し居れり。共同的に成金たるあり、個人的に成金たるあり、富めるは愈々富み來る。社會の羨望は今や彼等成金黨に向つて集注しつゝあり。成金萬歲と申すべき也。

○成金の輩出は喜びて可なり。然れども世に多く勞せずして只時運の好潮に際會したるが爲めに過大の利得を收め得たる者ある一方には、時勢の爲めに物價の騰貴し暴騰し、營業の困難となり、生活の困難となれるを嘆ずる者も亦多し。

○物價の騰貴に對して其の一般經濟上の利不利は姑らく論せざるも、騰貴すべき原因ありて騰貴したる物以外に、何故に騰貴したるかの理由を解するに苦しむ商品亦之れ無しとせず。物價騰貴は漸やく家庭の問題となり來りつゝあり。

○戰爭と云ふが如き異數の場合に際し多大の犧牲を拂ふ者もある間に、膨しき利益を座ながらにして收むる者あり。斯種成金者に對しては、國家は何等かの方法を以て其の上前を刎ねて可なり。國民負擔の公平は飽くまで期待せざるを得ず。

○是れまで株主配當もなし得ざりし會社など、一時に好成績を擧げ得たるに狂喜し、其の實力を顧みず、翌日の苦境を忘れて只株主喜ばせに配當をなすものも或は之れあらむ。然れども其の會社の基礎を鞏固にし又他日の配當を平均せしむる爲めの準備を第一の方法とし、而して殘餘あらば之を配當する事とせよ。苟且の好況に醉うて前後を忘るゝが如きは會社、殊に從前失意なりし會社經營者の最も愼むべき所なり。

○吾人は戰爭のお蔭にて急に一陽來復を喜びつゝある朝鮮の某會社の運中に、近頃如何なる譯にや甚だ贅澤放埒三昧の者あるを聞く。吾人は他人の懷中を忖度して其行動を批評する程の閑日月を有せず。但だ此等徒輩の行動が公正にして、毫も不謹愼、背任、不道德ならざらむことを希望せざるを得ず。光線愈々强ければ陰影愈々黑し此場合吾人は暗影の濃黑なるを忌む節度を重んじ勤儉を旨とする我朝鮮事業界の爲に之を忌みて已まざる也。

◎ハリス博士招宴

朝鮮美以敎會監督ハリス博士は同派の經營にかゝる私立培材學堂の組織を變更し新に高等普通學校として此程其筋の認可を得たるを以て十五日午後四時半朝鮮ホテルに於て披露の晚餐會を開き官民數十名を招待すべしと

◎天安洪州間自動車開通

天安洪州間に於て十三日より自動車運轉營業開始せられたり其發著時刻賃金等左の如し

發著地點（天安驛前溫陽溫泉　洪州）
天安發　午前八、三〇分　同一一、〇〇　午後五、〇〇
溫陽溫泉著　同九、一〇　同一一、四〇　午後五、四〇
洪州著　午後二、一〇
洪州發　午前九、二〇　午後一、二〇
溫陽溫泉著　午後四、三〇　午後五、五〇
天安著　午前三、二〇　午後五、二〇　同六、三〇
途中停留所　禮山　定員七名
賃金大人一人片道（天安溫泉里間七十錢　天安洪州間三圓）

◎關釜聯絡船不著

十四日夜釜山入港の關釜聯絡船對馬丸は風波の爲め中途より引き返し從つて十五日午前內地よりの郵便物は不配達となるべし

人事消息

▲高山鍾堅氏（仁川商業學校長）　十四日夕入京不知火旅館へ投宿
▲服部貫元氏（會社長）　同上朝鮮ホテルへ
▲フランバー氏（米國實業家）　同上

■南言北語■

獨逸對米潜航艇事件も何うやら米國の武裝商船問題が自殺的提案になつたらしい▲米國も妙に力んだから飛んだ破目に陷つた力めば力む程にウンと鐵拳を固めてかゝらぬから之れだ▲日本なども綏靖で力むと殷鑑遠からず米國にありだと云つて對支問題は何うする來る樣だがまだ／＼交戰團體とは認めぬのかね▲イヤ列國が認めぬ南支那の動亂は益々甚しくなつて日本が出しやばる必要がないツテ其の樣な遠慮に及ぶものか元來袁總統が首が千切れても帝政は思ひ切らぬと出て居る影には某國と云ふ黑頭巾が潜んで居るではないか▲遠慮も時によりけりだ人の眞似をする必要が何處にあるか鵜の眞似をするのは烏許りだ▲米國有名の女權論者フイルド夫人は軍備擴張に反對し且日米戰爭を否定した上▲日本支那には住民溢れ居れるが加州は沃野千里移民を容るゝに足る黃禍論の如きは痴人の夢のみと喝破して居る▲然り／＼バーネット案やヂリンガム案の贊成者は之れに何と答へる▲一體恐日と云ふ事を根本にするから種々と頭を惱めねばならぬ譯だ▲虛心坦懷に考へればフイールド夫人の言の如しだ▲最負をするのではないが斯う云ふ問題には婦人の頭は公平らしい▲餘り恐れられては洵に此方が迷惑千萬である實の處此方の外交がね…▲袁總統が張勳に貴州攻めの命令を出したら張は頭を横に振つたと云つて來たが此奴は何うも受け取れぬ▲張勳は目下北京で袁總統と張作霖と三人で膝突き合せでヒソ／＼話をやつて居る筈だ

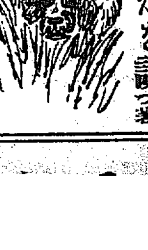
□大機大用　臍石道人

五年闘外幹勞軀　天籠忽降汗血駒　鐵蹄双々蹴風疾　大機大用任馳驅

各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入卸商　喜多金光堂
京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）　振替口座七八二番

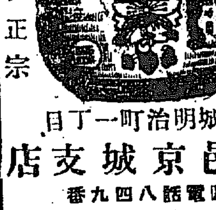
京都　同志社生徒募集
大學　○政治經濟部　○英文科　○神學部
▲各豫科生を募集す入學志願の方は來四月五日迄に申込あるべし
▲英文科卒業生は英語科中等敎員無試驗檢定の特典あり
普通學校（中學程度）
▲徵兵猶豫上級學校へ入學の資格及び其他の特典中學校に同じ
▲申込期限一年級は四月九日
▲一年級凡百四十名募集
▲二、三、四年級補缺若干名
▲二、三、四年級は三月廿八日限りとす
同志社女學校
▲普通學部は五ケ年の高等女學校程度なり尋常小學校卒業生は第一學年に入學を許す
▲專門學部は家政英文の二科にして修業年限各三ケ年とし英文科には特に一ケ年の豫科を置く
▲四年程度の高等女學校卒業生は家政科第一學年又は英文豫科に入學を許す
▲入學申込期限は四月八日迄とす
▲規則入用の方は郵券二錢を要す
京都　同志社

●特價發賣中込の好時●
青坡吉村君潔著
銃獵之趣味
見！銃獵の手引―多獵を希望せん人―朝鮮の獵地を知らんとする人―
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心酔して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を悉知せざるが爲めなり
本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり
獵犬の使用と善惡を說き
朝鮮の好獵地を敎へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり
定價四十錢　特價金三十錢（郵稅不要）
發行所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社



齒科
京城壽町八番地（浦尾旅館南横）
齒科醫學士　辰市捨三郎
辰市齒科醫院

比較は最良の撰擇法なり？
サクラ正宗



サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番　振替京城五七番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

最上醤油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

◉奉天農商銀行設立
…額の二十倍までの債券を發行する事を得べし（奉天）

大阪朝日特電
…車西…せり（奉天）

仁川米豆取引所
…夜所々に會合して明方近く迄斜哀に餘念なく我こそ當日の最優賞者たら…に次ぎ大倉幹事木ト…より會則及び競技方法に就き說明をなし一同記念撮…も何の物かは怒押し開き向鉢巻、…選手の奮鬪猛烈を極め吹き入る寒風…順の銀メタルを得山田氏二等三等…市川四等大熊…入賞して二流…付合の結果當氏一等に入賞し本社寄…

滿州大飛行特電

第三電（十四日午後一時七分）　特派員　勝村長平發

▲酷寒、寒暖計を破壊し了す
機は五千尺の高空に在り

今日しも最も深甚なる意味を有する陸軍大飛行の本飛行第一日に入る可き十四日は奉天城頭一天晴朗にして高度六百米突にして六米突の風速あり氣温は

■零下十七度

と註せらる午前九時十六分を告るや川上中尉は十六號機に搭乘薄井憲兵隊長同乘城内の低空飛行を行ひ後ち伊庭中尉、川上中尉また同機に搭じて飛行するところあり二十六號機は長澤中尉操縦の下に飛行せんとしたるも寒氣の爲モーターに故障を生じその修理のため遅るゝこと約一時間半にして飛翔し練兵場を三周するや機影次第に城外に逸し漸次高空飛行を試み約五十分間にして下降し午前十一時五十六分著陸す高度實に一千五百米突を記錄す即ち機上より莞爾として降下せる操縦將校

■長澤中尉

に就て其感想を叩けば曰く『一千米突以上の高空に於ては氣温俄かに低下し寒暖計用を爲さず風速は三百乃至四百米突の處最も強くしてそれ以上の高層に於ては殆んど無風なりしも寒氣激甚にして指尖に激しき痛みを覺えたり零下卅度位なりしなるべし』と、ニユーポール式單葉飛行機モーターの試運轉は澤田中尉によりて午前十時より行はれ成績頗る良好なり

▲遼陽へ！鐵嶺へ！
十五日より長距離飛行
滿洲駐劄部隊の聯合行動

十四日の試驗飛行に好成績を得たる十六號機及び二十六號機は十五日午前を以て廿六號は澤田中尉操縦し廣中中佐偵察のため同乘し十六號機は長澤中尉操縦し岡偵察將校同乘し

■遼陽に向け

て偵察飛行を爲し午後は廿六號機へ長澤中尉、十六號機へ坂本中尉搭乘し鐵嶺に向け飛行著陸し、十六日は午前十六號機を伊庭中尉操縦し岡大尉偵察のため同乘、廿六號機は川上中尉操縦廣中中佐偵察のため同乘し鐵嶺に於て偵察飛行を行ふ可く午後廿六號機は伊庭中尉、十六號機は川上中尉操縦の下に遼陽に向けて飛行著陸する筈なり著陸地の各守備隊より

■部隊出動

して偵察に對する演習行動を執り又著陸を掩護す可く遼陽鐵嶺に對する偵察及び著陸飛行準備の爲め十四日の午後は試驗飛行を行はず此長距離飛行は遼陽まで六十八キロ米突鐵嶺まで七十二キロ米突を算す

▲再び飛行
最高最長の記錄

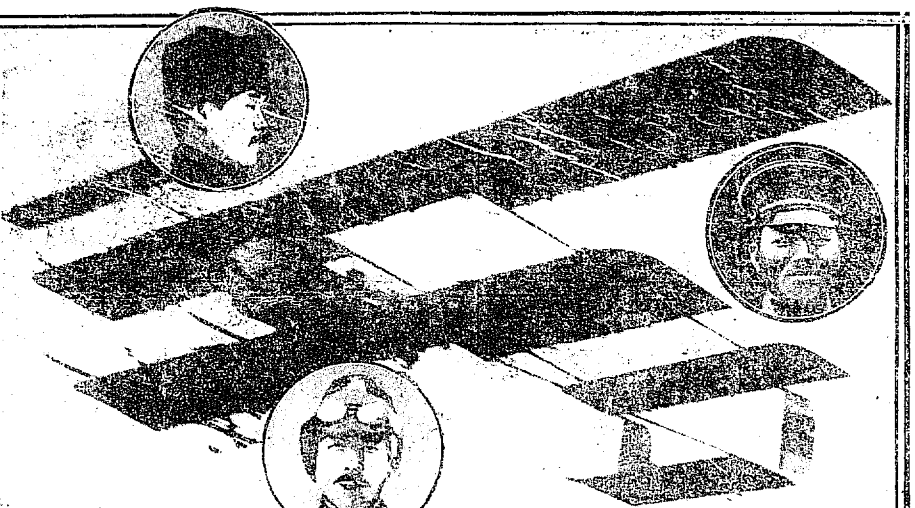
午後南風東に變り氣温降下したる爲め再び試驗飛行を行ひ川上中尉第十六號機に搭乘廣中參謀同乘一時四十三分より二時四十五分に至る一時間高度一千六百米突の最高、最長時間のレコードを作れり第二十六號機は長澤中尉操縦六分間飛行後伊庭中尉操舵黒木大尉同乘百米突の高度を執り七分間低空飛行を行ふ

▲支那人の感嘆

支那人間に於て飛行機に對する風評盛に行はれ或は百機と云ひ又は五六十機と傳へ孰れも巧なる航空振りに感嘆し居れり

◉飛行用の發動機
上村大尉の發明

飛行用發動機は此程東京砲兵工廠に於て上村大尉の苦心研究に依り其製造を發明し爲めに今後該器の輸入を要せざる事となりたり（東京電報）



□ほまれ!!　モ式飛行機及操縦將校

（右）澤田中尉　（中）川上中尉　（左）伊庭中尉

◉帝王になりたくなる心理
袁總統の胸の中（我輩が揣摩すれば）

支那は今宛かも戰國時代の如く武人が跋扈してゐる、從來の支那は武人を卑しんでゐたものだが革命戰以來武人の勢力が著しく認められて來た、それは微々たる一兵卒が忽ちにして

［大隊長となり旅團長と］

なり將軍となる實狀を見て武人はいいものだといふ事が一部の人間の頭に泌み込んだからである。支那の陸軍は從來二つの勢力に分れてゐた、

一は安徽派、他は湖北派

である。安徽派の中心人物は李鴻章、湖北派の中心人物は張子洞その勢力も楊子江を境として安徽派は北方、湖北派は南方にあつた、黎元洪などは元湖北派の出身、袁世凱は李鴻章の門下であつて安徽派に屬してゐたのだが、彼は河南の一武辨から李鴻章に引揚げられて清朝時代直隷總督となるに至つて勢力を造つた、隨つて

［袁の勢力といふものは］

楊子江を中心として北方にあつて南方には更にないのだ、そこで革命戰後南京遷都問題の起つたとき彼は飽迄を設けて應じなかつたのである、それと同時に南方には常に警戒を怠らず、南京には馮國璋、奉天には段芝貴といふ風に彼の股肱の武將を配置したのだ。此の狀勢を見拔いてゐる革命黨は第一次の時にも然うだつたが今回も楊子江以南の地に旗を擧げた（革命黨として洵に）怜巧な方法であるのだ。袁の身邊を護つてゐる者に以前は親衞兵といふのがあつたが

［今では共衞兵と言つて］

ゐるのがある、北京にゐるのは何時でも二萬位のものだらう、袁は前清皇帝の居られた所に居る、そこには南階、北階、中階といふのがあつて

北であつたと思ふ、居室と言つても頗ふる簡單なものであつたが今革命の機運には向つてゐるけれども袁といふ人は新教育を受けた武官が大嫌ひで、制度も前清時代のものを復活させ、官人の如きも一時斥けた清朝時代のものを漸時起用する有樣、唯維新になつたのは服裝位のものだ、こんな調子だから革命黨と融和するなどといふ事は絶對に出來ないわけになる。

［その癖彼は新聞政策を］

よく心得てゐてあらゆる新聞に金を遣り自己の意の如くしてゐる、北京にある新聞は殆んど彼の御用紙でその記事の材料の如きは總統府で印刷したものをそのまゝ記載してゐる樣なわけだ袁世凱がその故郷たる河南省を追はれた事は世人がよく知つてゐるが、今や彼は大總統となり然かも時に皇帝たらんとしつゝある時、彼を容れなかつた河南地方の人民の彼に對する態度は果してどんなものかといふに矢張り依然として不人望だ。そして種々の流言蜚語さへ傳へられてゐる、吾々が此地方に旅行したのは

［彼の白狼が叛亂した時］

だつたがその年に饑饉があつたので河南の者は袁なぞが國を治めるから饑饉があるのだ。今に袁が滅びて眞い人が現はれ河南省に都を置くと言ふ樣な事を信じてゐたので白狼の勢力は可なり重きを爲してゐたのであつた。袁も又河南省の者は用ひようとせず、總統府で面と向つて袁と話の出來るものは一人もゐない、河南省の者は皆後ろの方にゐるといふ位ひであるのを見ても判る。（なにがし）

◉印形の僞造

府内淸進洞十一番地の沈鍾太（三）は自分の兄の所有で水原の叔父沈遠明の名義なる光化門通百卅一番地の垈五十九坪と家屋一棟とを抵當に金を借らんとし昨年十月四日鍾路の印判屋で叔父の印章を僞造した上府内彌生町戸田安次郎より金五百圓を借り後十一月中には再び府内長河洞二百十番地三澤佐四郎より金六百圓を借り換へて殘り百圓を費消し居たる處今回惡事が露れて檢事局送りとなる

入院隨意　京城南大門通三丁目（舊木商店横入る）　胃腸病院　院主　佐々木杏造　電話一六五九番

◉盜んで質屋へ

愛知縣海部郡鍋田村生れ當時黄金町三丁目山田政次郎方借居の佐久間彌（三六）といふ韓油行商人は去る一月十二日の夜同じ家に來泊した府内公平洞長山正利方中田茂の黒羅紗マント外二點此の代金二十八圓許りのものを盜みこれを入質して勝手に費消したるより鍾路署の手に捕へられ檢事局送り

◉猩紅熱

仁川支那町二の一〇戶主松治五女尋常小學校生米田いせ（八）は二月十一日猩紅熱に罹り隔離病舍へ收容せられたり

◉墺探來る

墺探モラヴェックは這回秘密書類を携帶して神戶に入り込める形跡あり爲めに其筋に於ては嚴重警戒中なり（大阪特電）

◉大島丸の急行
木浦沖の難破船

全羅南道竹島燈臺沖にて遭難せる汽船は石川縣七尾補爪謙太郎氏所有船江津丸（一三三二噸）なりこれが救護として大島丸現場に急行す其他不明（木浦特電）

▲朝煙の新製品賣出し

兩切煙草にて好評を博せる朝鮮煙草會社にては今回日付にも名手したるが同社は專ら經營上並に衞生上の見地より特別品を除くの外は總て中發刺袋を製造する方針にて新製品須磨明石と共に三十二本入定價五錢と云ふ破格の廉價にて其他標用品としては中發翻票四十本入五錢と云ふもあり猶今回は特に心臟の印證に三百棚限り金袋二十個引換に粉品を進呈する筈にて取扱ひは新設の長谷川町京城販賣店にてなすと

◉其後の宗演師
先づ危險界を脱す

釋宗演老師其後の容體を聞くに十日は食慾も増進し朝パン一片牛乳六勺を攝取し又午後は氷菓、百瓦林檎二片肉汁五十瓦野菜スープ百瓦を攝取し午後五時來診の樋口博士の談に依れば『老師の病狀最も重かりしは去る七日にして同日は脈搏百一乃至五十四の間を往來し容體頗る氣遣はれしが其後は經過順當にて十日は脈搏も全く整調となり又咳嗽も略ぼ重態當時に比すれば三分一に減じ殊に疾患部も著しく復したれば最早や懸念する症狀を認めず全く危險界を脫したるを以て餘病を併發せざる限りは日ならずして快方に向ふべし』と因に博士は同日限り來診を見合せ十一日よりは新堀主治醫の診察に依り當分の間は依然一切の面會を謝絕し靜養に力むる由（東京特信）

砲車の上にて
寒中行軍從軍記

（四）薄暗い室に光る佩劍——聯合部隊指揮官の巡閲——寒くはないか——自分の銃を取つてみろ——一人で毛布を著てゐる奴があるかッ——馬が可愛い想だ——指揮官と衞兵の問答

藁の上の兵士が漸く眠りに就かうとしたとき、コツ〳〵と軟かな靴音が聞えて這入つて來たのは聯合部隊指揮官のK少佐だつた。I大尉とT大尉が隨いてゐた

三將校の佩劍

が薄暗い室内に光つて見える。『寒くはないか』と口を開いたのはK少佐だ。『ハア、寒くありません』と答へたのはまだ起きてゐた軍曹である。少佐はジロ〳〵と中を見廻してゐたが順序よく並んでゐる銃を眺めて『これは順番になつてゐるのか』と詰ると『順番にはなつてをりませんが、兵は皆

自分の銃を覺

へとります』と軍曹が答へる『オイ一等卒、自分の銃をとつてみろ、よし、番號は？』『ハツ、三〇五六四二番』少佐は兵の差出した銃の番號を見て『ウム、よし』兵に渡す。こんなら急がしい出發間際にも魔誤つく事はあるまいといふ樣な安心らしい顏色を見せた。そうして次ぎの室に廻つて行つたが其處には三人ばかり

毛布に身を包む

でゐた下士のあるのを目敏く見つけて『コラツ、皆が毛布なしで寢てゐるのに自分達ばかり毛布を著て寢るといふ事があるかッ』と爆裂彈を投げた。此の聲を聞いて『ハッ』と飛び起きたのは伍長だ。あとの二人もつゞいて起き上がつた、そして毛布クル〳〵と卷くと隅の方へ押遣つて睡むさうな眼で少佐を見ながら恭しく敬禮をした。で少佐は『變りはない

洋燈を顚倒す

な、火に氣をつけろ』と言ひ殘して砲兵宿舍の方へ來た。此處では暖爐の火氣が十分でないのを見て『寒くはないか』と問いたが『寒くありません』といふのを聞いて、馬繋場に來た。馬繋場には厩舍當番に衞られて二十何頭の馬が露天に藁を食むでゐた。『寒むさうだな、毛布でもかけてやればいゝのになあ』と憫む樣にの内の

一頭の鼻面を

撫でた。馬も三四名の人が來たので元氣づいたものか、其處でガサガサと藁の音を立てた。衞兵所へ來ると暗闇に銃劍を光らしてゐる衞兵に向て問を發する『露營司令官は誰か』『大隊長殿であります』『大隊長は何處に居る？』『憲兵出張所であります』『露營日直將校は誰だ』『××少尉殿であります』こうして一々明瞭に即答するのを聞いて

さも安心した

樣に巡閲を終つた。これが濟んだのは十一時兵士一同も安心した樣に十一時半の出發まで何れも安き眠りに就いたのであつた。

◉訂正●　昨夕刊三面所載『御下賜の駿馬來る』の記事中『大要』とあるは『大用』の誤りに就き訂正す

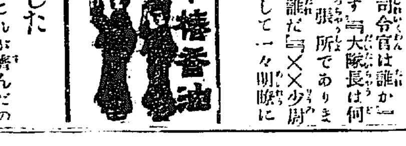
金牌受領　本椿香油　髪を黒く長くつやを出し夏のふけを防ぐ

京城學校組合告示第四號
一、京城學校組合用机參百拾六脚
一、兒童用腰掛七百五拾貳脚
右入札ニ附ス入札者ハ京城學校組合管理者ニ限リ當府内ニ住居スル者ニ限ル入札保證金ハ見積價格百分ノ五以上ヲ納ムヘシ入札心得書及見本ハ當組合ニ就キ縱覽スヘシ十六日午前十一時開札ス
大正五年二月十三日　京城學校組合管理者　京城府尹　金谷充
京城學校組合

生徒募集廣告
今般本校本科第一學年級生徒四十名募集ス入學志願者ハ來ル三月二十五日迄ニ入學願書履歷書及戸籍謄本又ハ民籍謄本ヲ本校ニ提出スヘシ但シ府尹郡守又ハ面長ノ證明セル品行證明書（ヲ本校ニ提出スヘシ）
入學試驗ハ四月一日午前八時本校ニ於テ之ヲ行フ受驗者ハ鉛筆及辨當ヲ携帶スヘシ
〇入學試驗科目　一、算術（四則、小數、分數、比例）一、國語（讀書、書取、會話）一、漢文（漢文和譯）一、體格檢査
詳細ハ朝鮮總督府官報又ハ本校ニ付承合若ハ二月七日朝鮮總督府農商工部農務課、各道ノ參照スヘシ
大正五年二月　京畿道水原郡日判面西屯村
朝鮮總督府農林學校

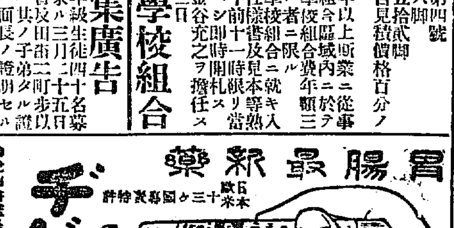
廣告
忠南靑陽郡定山面大琉洞は生等の先祖の墓所に有之候處或る宗人が宗議に依らず公の墓山の松木を賣却せんと計劃致居候由に付内外國人は右賈却に應ぜざる樣御注意被下度後日紛議を惹起す虞有之候に付右謹告候也
東萊居人　鄭憲永　鄭樂駿　等白

絹類
持越品特別値段にて販賣す至急御注文あれ引換便小包料を要す
節句白絹六丈物　正三圓九十錢及二圓
珍色同　四圓廿錢
裏用白羽二重　甲六圓廿錢　乙五圓四十錢
黒羽二重紋付　同　甲八圓八十錢　乙五圓九十錢
三ツ紋五ツ紋共定紋無代にて上繪す
京都市松原烏丸西　染絹卸問屋　勝馬商店　振替口座大阪一八六三六

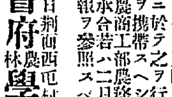


金縁眼鏡　糸岐商店特製
十八金製一匁七分付　拾貳圓五拾錢
廿金製壹匁七分付　拾參圓五拾錢
十八金製二匁付　拾四圓
廿金製二匁付　拾五圓
（御注文の節は度數御記入の事）
貴金屬品製作所　仁川本町　糸岐商店　電話三七〇　振貯京城七一番

胃腸最新藥　チゲスチン　歐米六ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、消化不良等に著效あり營養補給の目的にて諸種の病後小兒の發育不良等に常用すれば血液を增し精力を盛んにす
說明書送呈　東京本町　合資會社　西城商會



ゴム底輕便靴　文數御知らせ
丈夫徳用足痛なく旅行に適す學生吏員自轉車乘用及び勞働用に
◉送料共　六拾五錢
足袋付品七十錢　三足以上送料共各甲五錢割引
前金注文に限る代金引換は小包を諾す不向の時は返金す
大阪松屋町　大賞堂　振替大阪二三六一九番



新刊書御案内　書名　著者　定價
◉鐵筋混凝土の理論及其應用上卷　日比忠彦　五〇〇
◉高等催眠信　後藤　一八〇
◉支那論集　市村瓚次郎　二二〇
◉英文法新話名詞篇　吉田靜次郎　三五
◉和英社交用文集　小川小久保　八五
◉初學作詩法　不井　七〇
◉學生の友　芳賀矢一　一〇
◉東京自活苦學案内　森泉南　三八
◉基督教神髓　高木　八〇
◉禪の一夕話　林大狂居士　九五
◉日常生活の化學　高木　五〇
◉實用新聞雜誌廣告術　五〇
◉初心獨習將棋速成法　三〇
◉日蓮　村上　七〇
◉從軍三年小敵大敵　三〇
◉ビヂネス日記　佐藤　三〇
◉神人の爲めに　岡田　一〇
◉春のゆくへ　長谷川　三五
◉碧梧桐句集　六〇
◉彩雲文集　大町桂月外　七〇
◉大正五年最近朝鮮事情要覽　六〇
東京本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三
大阪屋號書店

最良髪油
殿方も御婦人も御愛用遊ばさる、頭髪のために一番良い香油
本舗　東京　井善製
支店　大阪市南久寶寺町四丁目　藤森源之助　電話東一八七八番

千生瓢 (124)

須藤南翠作 筒井年峰畫

杜鵑一聲（四）

他の氣色を相て、心の方向を察するに、天聲の明鑒を得た羽柴秀吉は又左衞門利家が刹那の喜色を一見して、誠心誠意、深く己を德とすることを看破し、斯くては事全く成就したと悦んだ。

『いや與方、勝手がましうおざるが御懇意にあまへて、些と御頼請事がおざるが、聞き屆け給はらうや』

秀吉は斯う言つて、益々うち釋けた體を示した。

『何事の御懇情、心にだに任する事ならば』

夫人も愛憎よく應酬した、秀吉は更に上機嫌となつて、

『外でもおざらぬ。是れより又左殿をも御同伴申して、急ぎ北之庄を攻め落さうと存ずる。出陣の壽ぎに御盃一つ頂きたうおざるぢや』

『はれ、やれ、姿とした事が、久方の御目もじに、是れはまた心付ぬ事の、最と易い御所望、何はなくとも緩々と過させられい』

夫人は快く諾うて、姑らく中座をした。利家更に秀吉の濶情を慰めながら、

『我等を北之庄に伴はるゝこと、今となつては最早否みは仕らぬ。幸ひ倅孫四郎も濟城致す、彼の勢ども御用あらば、遠慮なく召連れ下されう』と言つた。

『御芳志は恭けないが、北之庄へは堀久太郎に先陣うたせて、昨夜の間に人數を進めさせておざれば、未明には隙際近う攻め寄せた事と存ずる二手三手順々に繰出させた程に、今日一日の内には、北之庄を十重二十重に取巻んこと、難儀とも存せられぬ。和殿を頼むは勢を借らう爲ではない。御懇志ぢや、思慮ぢや、老功の分別ぢや。さらば、孫四郎殿を煩はすまではおざらぬ。留守して城を守らせられい』秀吉も斟酌なく物語る

やがて九獻の準備が整つて、盃が巡つた。秀吉は快よげに數盃を傾けて、驩ばしげに笑つた。

『一昨日大垣を出馬致いて、昨夜始めて目を合いたが、まだ盃を舉げ申さぬ。今大敵を城に追ひ籠めて、昔馴染の和殿と、斯やうに快く酌み交いて、念なう醉申した。あゝ好い心持ぢや。筑前、近來に覺えぬ醉心地でおざるわ。ワッはッはッは』

『下物とても物乏しいが、さらば先づ重ねさせられい』

『いや〳〵丁度おざる。もはや醉申した。御强請序に、湯漬一つ招ばれ申さう。冷飯にて大事おざらぬ』

秀吉は盃を納めて湯漬の箸を取つた。夫人の給仕を受けて、熱き湯をざぶ〳〵とかけ、快げに數椀を傾けるのであつた。

『段々の御造作、殊の外頂戴致いた。筑前はこの府中の脇本に宿陣して、城攻の仕度を致いた上、明拂曉に北之庄に向はうと存ずる。和殿も必ず御出馬頼み申すぞ』

秀吉はやがて府中城を辭した。利家は城外に送り出して、詰且の再會を約しつゝ袂を分つた。

夜をこめて兵を進めた、堀久太郎は、二十二日の未明に、北之庄に押寄せて、先づ左の軍令を、要所要所に帖り出させた。

一、進退その外何事も、母衣のもの並に使番次第、其法を守るべき事

一、亂暴すべからざる事、並に酒家內に入るまじき事。

一、まばら驅すまじき事。

一、合戰を心に備へ、夜討の用心を怠るべからざる事。

一、利に誇るべからざる事。

右之條々無相違、可相守此旨者也

斯うして軍中の規律を正しうして兵氣を振肅したのち、民家に火を放つて、漸次に城外に攻め寄せた、城は北陸道の總管領が居城である。主將は鬼と稱ばれた名將、柴田修理亮勝家である。敵近くとも知らざる如く、靜りかへつて音もせなんだが、湼際に押寄せて、哄と閧を揚げた時一齊に防矢を射出した。一筋の箭も一發の彈丸も、徒に放つそれ矢は無かつた。

募集短文

煙のローマンス

山煙生

人々は狂人だと云ふ隣りのおばーさんはもう六十の坂を越して居ます。毎日暖かな初春の緣先に默まり込んでは恨めしさうな目付きでノベツにパクパク長い煙管から臭い臭い煙を吐いて居ます。煙はからんではとけ結んではひろがつてやがてチヾレ切つた髮の毛を縫つてやはらかに浮いてゐるかと思ふとスーと夢の樣に上に昇つては何處ともなく消えてしまひます。私はいつも其の煙の行く先をつきとめたいとアセリにモガキますが只殘るものは冷たい悲しみの零ばかりです、さうして彼の煙の中には何かの悲しい！メランコリーなロマンスがひそんで居るんだと想ふ時私はもう堪らなくなつて自分が身も心も煙の中に吸ひ込まれる樣な氣がしてなりません。

女…煙草の煙

私は此コントラストをチッと考へる時スグ其おばーさんに

商況

合同新株 鐵鋼新株 同上新株

二月限 三月限 四月限

東京期米

新刊紹介

▲日常生活化學（富永醫著）化學は決して其の專門の學者の獨占すべきものでなく又學上の應用は勿論家庭に於ても決して等閑に附すべからざる知識であると著者は云つて居る此の書は極手近な化學を平易簡明に說いてある空氣、食物、火藥、植物、染色、インキ、紙、アルカリと酸、石鹸其他二三項何れも日常生活と密接したものを取つて平易に說明を與へて居る（定價五十錢東京府豐多摩郡淀橋町之科學社）

▲學ー（二月號）植物の冬籠（牧野博士）便利な教育博物館（吉田博士）獄裡の思出（河野恵相）千古の謎を解て西藏に入る（記者）の好讀物がある（十七錢東京神田富山房）

▲新女界（八の二）讀に價ひする人（安井哲子）新しき愛（海老名彈正）醒めよ若き婦人（長井博士）朝鮮の女子に就て（松本雅太郎）定價金十二錢東京市小石川區林町四三新人社）

▲雄辯（二月號）明治天皇は神の出現なり（長岡中將）歐洲列强の大勢（吉野作造）下院の議長及び議場（川島保一郎）東都大學論客總まくり等例に依つて內容充實（二十八錢東京本鄉區大日本雄辯會）

▲獨立公論（四の一）「進化の世界」は東西洋印下の重要問題廿數項を評論す其他婦人問題禁止物の價値生活のローマンス等眞面目の記事頗る多し（一冊十錢ホノル、市共社）

▲女の世界（二月號）女皇な執念剛神とせよ（釋宗演）女と金（野依秀一）妻君が飾ら無い勿れ（有美蛮龜）其他女に關する記事頗る多く翻讀し來れる悅ぶ（二十錢東京麹町實業之世界）

▲趣味之友（二月號）評論には成功に近き和洋趣味の融和（伊東忠太）日本に於ける狀劇（小林愛雄）新作には白川の六人の群、鏡花の錦染瀧の白糸等內容趣味豐富なり（二十錢東京芝區北社）

▲世の中（二の二）編輯法は一寸女の世界に似て居る矢張り實業の世界社から出る日本好色家例傳、文學代議士五人男、世渡の道、狂人集合所と國人の集合所と云ふ樣な記事滿載（十八錢東京麹町實業之世界社）

▲義勇青年（二の二）身を立て世に處し國に報ひる道（松浦宮殿御用掛）佛蘭西と露西亞の靑年團（小中義一）世界各國少年義勇團物語古今東西英雄の面影並英雄の記事充溢（十錢東京牛込大日本義勇青年社）

日本一 清酢

日本酢の元祖にして醸造高第一位也美味滋養に於て又第一位也

朝鮮輸入高の第一位にして京城の賣高又第一位なり

電話二四五番

日本醬油株式會社京城出張所 京城太平通二丁目

□平壤燒栗會句稿□

盡れ出たのは昨年御大典の際でした、同人は全く俳句に經驗を持たぬ人ばかりです、でも屢々會を重ねて居ます内にはスッカリ吞み込んで此の一ケ月の間の進歩と來たら實に驚嘆しいものです、一週間に一回は句會を催して居ます會員は今二十名かおへて居ます熱には上當な一を頃になつて努力して居ます、此の間「水仙」を試みました即ち左の如うな選句を得ました（秋湖）

宿換へて机据ゑよふ水仙花 汀人

水仙に安息日足袋なし日南 汎山

貯菜庫に鷄鳴いて水仙の鉢る 同

手紙巻き了へ水仙に目を移す 汀人

富山商人が水仙を抱へ繪を描く 汎山

幼な頃の床拭や水仙に愧づ 馬鄉

頻り蹴合ふか水仙皿に折れて 露光

水仙の夜市美術の君が路次に入る 未成老

怠りと捨て藥水仙に踏む日ある 露光

土器の歪み水仙書架並びへ 馬鄉

羽弱き蟲の骸よ水仙水落つ 露光

午後の家居水仙に小雨嘯く日 汀人

水仙に呼ぶ水や廊下歩み寛ふ 秋湖

きんたま

のはれだつちよう病こうがんゑんきん困難の方へ特効ある良藥詳報す二錢封入申込み 播磨明石相生町 藤井源四郎

正月の胃

雜煮餅の喰ひ過ぎ、屠蘇の二日醉、釐へや胃を惡くして、胸やけ、げつぷ胸痛抔と、正月早々から縁起でも無い、まして一年の計は元日にありと言ふて、元日には一年中の事を考へて何事も善き方に進まねばならぬ

答へる體の中でも人の身に一番必要なる胃を惡くしてはならぬ、コンナ時には差向き信用のある、五大軍醫の合議製劑胃活を、直ぐ召し上れ、グット胸が空ひて、氣が清々する。

定價（胃活錠劑）壹圓・六拾五錢・四拾五錢・廿錢

請賣 全國各地有名藥店にあり

本舗 東京日本橋本銀町山田安民 大阪南久寶寺町二山田安民藥房

齒科全般治療開始

大邱府上町農工銀行東隣 齒科醫士 菊池玄勝

▲美味なる▽ 虫下し最良藥

定價五錢・十錢・廿錢・五十錢

岩崎大海堂セメソン錠子

美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくかー 本舗 大阪天王寺 岩崎大海堂 ▲內外藥店にあり

主治効能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疝熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫

近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

▲廿錢のは卅二錢分入りで徳用 ▲常用と進物に妙です

美顔白粉お使ひになつて（其二）

（七）感じた事

青森陸軍官舍乙五號一番 高瀬意志子孃

初め美顔白粉は、本當に廣告のやうに他の白粉と比べて良いものかと思ひながら口を開いて見ました處が、第一香の良いには驚きました。今迄は顔がタムシでも出來たやうに皮が剝けて其部分のお化粧には閉口でしたが、美顔白粉を使ひましてからは、こんな心配は無用になりました。實に不思議ではありませんか。又ノビが大變によく、誰も少なくて白くなり、其上化粧くづれが致しませんで、何誰も悦ばれます。私は一生この美顔白粉を愛用いたします。

（八）道にて……

大阪市北區東樋現町 北中波世美孃

道にて或る化粧品屋で美顔白粉を買つた。それをつゝみながら不圖一ヶ月前の自分を思出した。それ迄私は顔の生地がきたなく、いろ〳〵化粧に苦心して見て、だまされた氣で附けて見た所がマアそのノリの良さ！ノビの良さ！生地もそれから見違へる程よくなつて嬉しさ、しみ〴〵美顔白粉に感謝した。色艶も素顔としか見られない。其時の早く友にも喜ばして上げやうと、私は美顔白粉を手に道を急いだ。

（九）師走の或る日

愛媛縣喜多郡喜多山村 森岡清子孃

冷たい風にうたれた頬を、或る店の柱鏡で不圖婦美さんと見合せた時、さつきまで美しく見ゐた婦美さんのお顔がもーがさ〳〵になつて、お口のあたりが赤くなつてゐます。通りすぎてから「貴女何白粉？ほんとにお綺麗よ」こと仰有るので、私は常に美顔白粉を愛用して居ること、自然の白さの樣でいつまでも剝る事なく、顔なんかチッとも荒れない事、など教へてあげますと大變喜ばれました。此時には彌々美顔白粉を有難いと思ひました。

（十）私の化粧法

臺灣阿猴廳下番社雞籠監獄署內 桑原とき子殿

私は三人の子供の母親で御座いますから日中忙しく暮してをりますので、お化粧に一時間も二時間も費すことはとても出來ません。幸にあの有名な美顔白粉を前から愛用して居りますので朝顔を洗つて美顔水で白粉を溶いて附けますと、僅か三分位もかゝらず綺麗になり、一日中誠に心地よく御座います。皆樣から貴女はお忙しいのにいつもお綺麗にしてと申さるゝにつけても私は常に美顔白粉のある事を感謝してるます。

（十一）急ぎの時

茨城縣鹿島郡中野村奈良毛 谷田川貞子孃

「まあ、ほんとに早かつたのね！」と光子さんは感心して終ひました。盛裝した光子さんが見ゐた時、私はやつと髮を結つたばかりのとこでしたのに、二人連立つて門を出たのは僅か十分ばかりの後でございます。一番美顔白粉の特長がわかるのは、急ぎのお化粧の時でありませう。どんな急ぎの時でも、ノリやノビが良くて斑などになる心配が無いので、それは〳〵ちきお化粧が出來上つて終ひます。私の質地を見て光子さんも美顔白粉の愛用者になられました。

（十二）感じたこと

鹿兒島縣揖宿郡指宿村中福良 內田すき子孃

師走となつて、寒い北風が吹いてまゐりますと、肌が荒て他のお化粧いたしましては、何だかノリが良く御座いませんが、評判の美顔白粉ばかりは、態とらしい所がなく、ムラも出來ず、思ふまゝ自然に美しい化粧振が出來ます。冬ばかりでなく、何時でも美しく、殊に夏の夕で、浴後、日燒の肌に用ひますと、生れつき色が白い樣な白さに附きます。其時の心地よさ、清香馥郁としてこの上もない愉快を感じます。

▲丸りの大賣物

朝鮮總督府警務總監部御檢定濟

花柳病專門藥

本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り黴毒淋疾に最も卓効を有する諸種の新藥を主劑とし健胃の良劑を極めて合理的に配合調劑したるを以て花柳病疾患に服用し安全に治療の目的を達し得る最新良藥なり

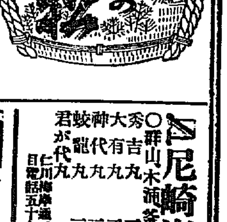
一週間分 梅普通金壹圓 梅特製金貳圓廿錢 淋普通金貳圓 淋特製貳圓五拾錢

製劑本舗 東京澁谷 東京ドラッグ商會

京城永樂町三丁目北 東京ドラッグ商會滿鮮本部

登錄商標 目ぐすり中の目ぐすり 岸田目藥 精錡水

醇良清酒



大邱東門町 若松商會酒造場 同精米部 電話二二番 振替一〇三七番

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 溫州丸 二月十八日 吉辰丸 二月廿一日 午後五時出帆 平壤丸 二月廿五日

○外航所屬船（京津航路を除く）は總て寄港各地の時は五分引を以て連絡切符を發賣仕候

×○木浦、釜山、長崎行 ▲は鎮南浦、三浦に寄港 ×天佑丸 二月十七日 ▲城津丸 二月廿四日 午後二時出帆

○大連行 天佑丸 二月 日 城津丸 二月廿 日 正午出帆

○群山、釜山、淸濟行 潮州丸 二月廿八日 漳州丸 二月十六日 午後四時出帆

○大連直行 漳州丸 二月 日 チヨイサン丸 二月廿六日 正午出帆

○淸津、浦潮行（元山出帆） 天智丸 二月十六日 臺北丸 二月廿八日 午後二時出帆

○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 北丸 二月廿五日 新高丸 二月十七日 午前十時出帆

御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候 ×印は一等客御斷り△印は二等客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番、二二〇番、五五〇番

京城切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番

中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽行 淡路丸 二月十八日 正午出帆 相模丸 二月廿三日 正午出帆 高砂丸 三月十二日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十一番

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 二月 日 後五時出帆

○元山清津浦鹽行 立神丸 二月十七日 後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 二月十五日 後五時出帆

○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月 日 後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 二月十九日 後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 二月 日 後六時出帆

○佐須奈、巌原、豊岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山埠頭立岸町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

共同丸 大連行 二月十四日 後二時入 二月十六日 前九時出

朝鮮沿岸及支那北部各港の運送に最も懇切鄭重取扱仕候

○第一阪鶴丸 城津、淸津、浦潮行（元山出帆） 月 日 後九時出港

○第三 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船 仁川出帆

京城南大門驛前 松原運送店

全羅丸 三月 日 京畿丸 二月廿一日 黃海丸 二月十六日 咸鏡丸 二月廿六日 釜山發

城津丸 平安丸 鏡城丸 二月 日 二月廿一日 二月十七日 元山發

永興丸 北久昧石里浦行 毎月廿八回 元山發

登龍丸 甘浦九龍浦浦項寄港 二月十四日 釜山發

江陵丸 襄陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 釜山發

三浦丸 二月十四日 釜山發

海州丸 巨濟丸 慶寶丸 杭州丸 有日 釜山發

順天丸 各港經由麗水行 三日目毎 木浦發

慶興丸 各港經由濟州島行 二月十七日 木浦發

公州丸 二月廿一日 木浦發

公州丸 二月十五日 木浦發

全州丸 二月十九日 仁川發

江原丸 芝罘、大連、青島行 二月十五日 仁川發

麗水丸 晋州丸 二月十七日 二月廿二日 仁川發

錦江丸 南陽丸 江華島、永宗島、海州行 毎日午前 仁川發

平安丸 二月 日 群山發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 二月廿六日 後四時出帆 大有丸 二月十五日 後四時出帆 神代丸 二月十九日 後四時出帆 蛟龍丸 二月廿四日 後四時出帆 君が代丸 月 日 後四時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部